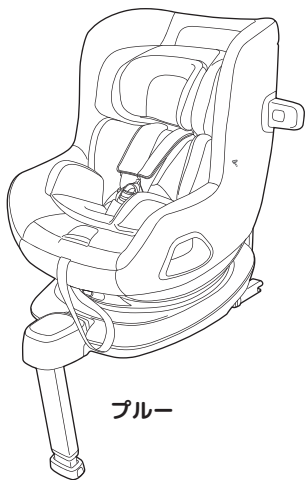


pruu™

pruu プルー

pruu aire プルー エアー

取扱説明書 / 保証書



プルー



プルー エアー

ECE R129 適合チャイルドシート

【後ろ向き使用時】

適応身長 40cm-105cm まで

適応体重 2.5kg-19kg まで

目安年齢 4 歳頃まで

【前向き使用時】

適応月齢 生後 15 カ月を超えたら使用可能～4 歳頃まで

適応身長 76cm-105cm まで

適応体重 19kg まで

nuna®

重 要 ！

本取扱説明書は、必要なときにいつでも参照できるよう、大切に保管してください。

本取扱説明書を熟読して、内容を理解した上で本製品をご使用ください。



必ずお読みください

本製品は、自動車の座席のISOFIX 固定装置に取り付けて使用するチャイルドシートです。本製品は、最新の安全基準に適合するチャイルドシートですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品を使用するため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分に理解した上で本製品を使用してください。

本取扱説明書は、大切に保管して必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。

もくじ

はじめにお読みください	4	インファントインサートの分解	39
ユーザー登録のお願い	4	SIP (サイドインパクトプロテクション)	
チャイルドシートについて	5	ポッド	41
本製品の重要な情報	6	リクライニング	42
適合車種一覧	6	キャノピー (ブルー エアーのみ)	43
表記の説明	7	取り付け、取り外し	43
本取扱説明書で使用するイラストについて	7	使いかた	44
その他の表記について	7	シェルの回転	45
最初にご確認ください	8	回転ロック機構	45
ブルー/ブルー エアー	8	回転のしかた	46
内容物の確認	8	自動車の座席への取り付けかた	48
各部の名称	9	取り付けかた	48
自動車に関わる各部の名称	11	取り外しかた	55
シェルの向きと使用条件	12	お子さまの乗せかた	58
後ろ向き、前向きの使用条件	12	準備	58
使用可能なお子さまの範囲	13	後ろ向きで使用する場合	59
インファントインサートの使用	14	前向きで使用する場合	59
自動車の座席への取り付けに関して	14	お子さまの乗せ降ろし	60
取り付け、使用可能な座席の位置と向き	14	お手入れのしかた	68
i-Size	15	カバー類の取り外し、取り付け	68
本製品を取り付けできない座席	15	股ベルトパッド	69
取扱説明書の常時携行	18	インファントインサート	69
使用上の注意	19	肩ベルトパッド	70
緊急時の操作	31	シートカバー・ヘッドサポートカバー	72
基本的な使いかた	32	お手入れの方法	76
バックルの使いかた	32	カバー類	76
バックルの外しかた	32	シェル・ベース	77
バックルの留めかた	33	ハーネス・ベルト類・受けバックル	
差込みタンク受け	34	・差込みタンク	77
ハーネスの長さ調節	35	保管のしかた	78
ハーネスの高さ調節	37	廃棄のしかた	78
インファントインサート	38	保証書	82
取り外し、取り付け	38		

はじめにお読みください

ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたしております。本製品は、日本国内で使用を認められているチャイルドシート基準の ECE 基準に適合しております。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適さない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いいたしております。

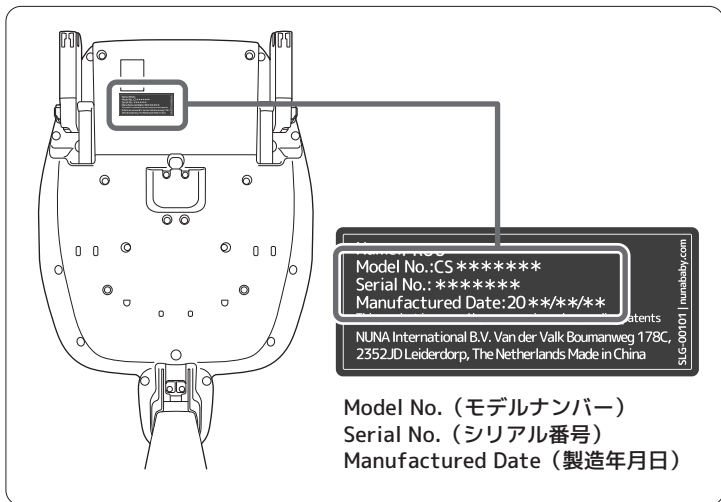
同梱の「ユーザー登録はがき」または、下記の弊社ホームページよりご登録ください。お預かりしたお客様の個人情報は、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的にのみ利用させていただきます。

<https://www.katoji.co.jp/childseat.html>



日本国内においては、輸入販売元の株式会社カトージにおいて、ユーザー登録、保証サービス、サポートを行っておりますので、上記 URL からご登録いただくか、同梱のユーザー登録はがきによりご登録をお願いします。

ユーザー登録に必要な情報は、本製品の底面に記載されています。



チャイルドシートについて

チャイルドシートは、万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進、急停止、急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としており、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。

また、チャイルドシートが正しく取り付けられていなかったり、お子さまの身体がチャイルドシートに正しく固定されていなかったり、お子さまの体重や体格に適さない状態でチャイルドシートを使用したりすると、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記に従って、常に正しく使用してください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、チャイルドシートを常に正しく使用するとともに、慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

本製品の重要な情報

- 1 本製品は、UN Regulation No.129 基準に適合したチャイルドシートです。i-Size 規格に対応しており、i-Size に対応した自動車の座席に取り付けて使用することができます。ただし、車種や座席によっては、本製品の装備する機能の使用に制限が生じる場合がありますのであらかじめご了承ください。また自動車の取扱説明書において i-Size 対応との表記がない場合でも、取り付け、使用が可能な場合もありますので「適合車種一覧」をご確認ください。
- 2 本製品は、適合する基準により使用可能なお子さまの範囲が定められています。本製品はシェル部分が回転することにより、自動車の進行方向に対して後ろ向き、前向きに切り替えて使用することができますが、それぞれ使用可能なお子さまの範囲が異なりますのでご注意ください。
 - ・ 本製品を自動車の進行方向に対して後ろ向きにして使用する場合は、身長 40cm-105cm かつ体重 19kg 以下のお子さまにご使用いただけます。
 - ・ 本製品を自動車の進行方向に対して前向きにして使用する場合は、身長 76cm-105cm かつ体重 19kg 以下のお子さまにご使用いただけます。**ただし、前向きに固定しての使用はお子さまの月齢が 15 ヶ月を超えてからに限ります。身長が 76cm を超えても月齢が 15 ヶ月以下のお子さまは後ろ向きにして使用してください。**
- 3 ご不明な点については、チャイルドシートのメーカーまたは保証書欄に記載のお問い合わせ先、お買い求めになった販売店にお問い合わせください。

適合車種一覧

以下のホームページに掲載の適合車種一覧において、本製品を取り付けて使用できる車両の情報が記載されています。

<https://katoji.co.jp/user-carseat/index.html>



表記の説明

本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意、ご留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しております。

この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品を使用されるお子さまや保護者の方、また、周りにいる方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上で使用してください。

 **危険** この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

 **警告** この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

 **注意** この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

 警告や注意を促す事柄を示しています。

 禁止事項を示します。

 この表示に付随して記載されている事柄は正しい状態にあることを示します。

 この表示に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあることを示します。

本取扱説明書で使用するイラストについて

本取扱説明書で使用しているイラストは、より理解しやすくするために、大きさの比率の変更、強調、誇張などをおこなっており、実際とは異なる部分があります。あらかじめご了承ください。

その他の表記について

 **ポイント** 「ポイント」と表記された枠に記載されている事項は、本製品をご使用いただくにあたって知っておいていただきたいこと、また、本製品をより便利にご使用いただくための大切な情報です。

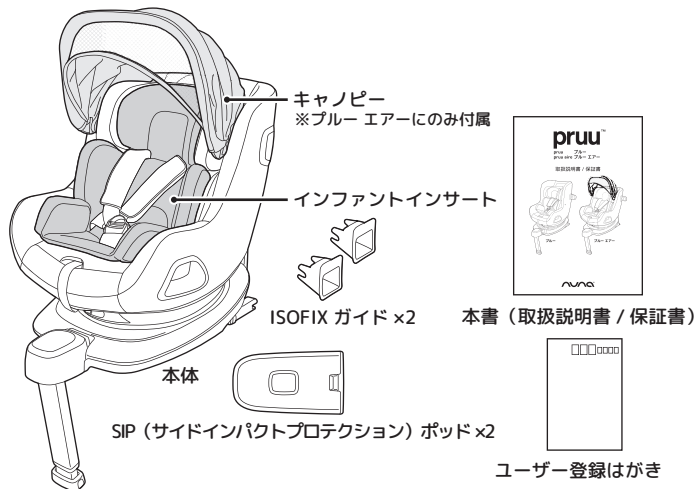
最初にご確認ください

プルー/プルー エアー

本書は、プルーおよびプルー エアー（キャノピー付き）の共通取扱説明書となります。プルーとプルー エアーは操作方法は同じですが、それぞれの製品のみに該当する操作に関しては本書においてその旨の指示をしています。

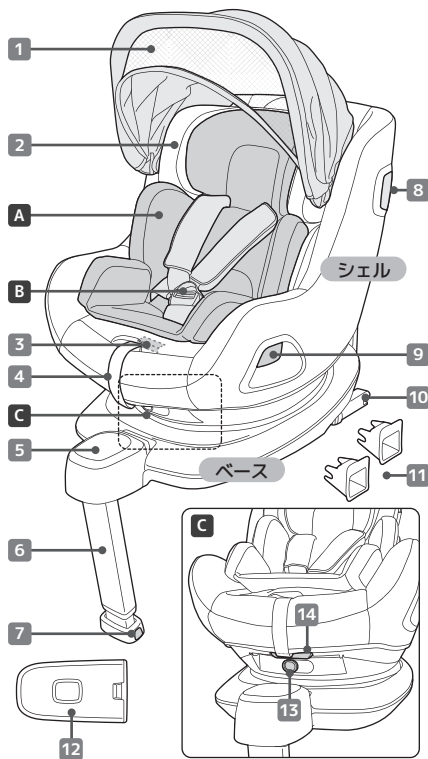
内容物の確認

本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にならず、大変お手数ですが巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。

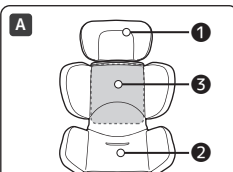


注意 本製品が入っていたビニール袋などの梱包材は、本製品開梱後、直ちにお子さまの手の届かない場所に廃棄してください。

各部の名称

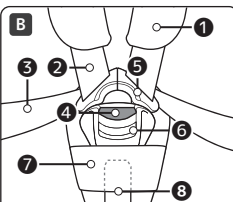


※図はブルー エアーのものです



インファントインサート

- ①ヘッドパッド
- ②ボディサポート
- ③クッション

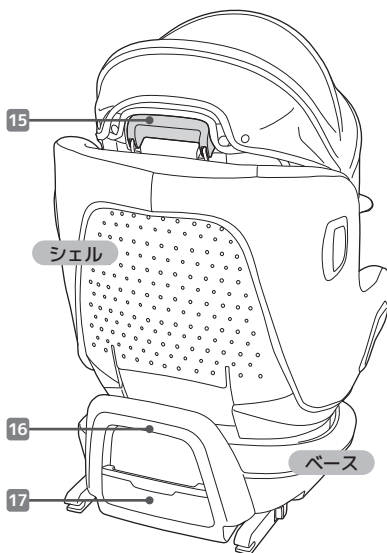


バックル/ハーネス

※肩ベルトと腰ベルトをあわせて「ハーネス」と表記している場合があります。

- ①肩ベルトパッド
- ②肩ベルト (ハーネス)
- ③腰ベルト (ハーネス)
- ④バックルボタン
- ⑤差し込みタング
- ⑥受けバックル
- ⑦股ベルトパッド
- ⑧股ベルト

- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| ① キャノピー※ ※ブルー エアーのみ | ⑧ SIP スロット |
| ② ヘッドサポート | ⑨ 回転レバー |
| ③ ベルトアジャスターボタン | ⑩ ISOFIX コネクター |
| ④ アジャストベルト | ⑪ ISOFIX ガイド |
| ⑤ サポートレッグインジケター / 回転インジケター | ⑫ SIP (サイドインパクトプロテクション) ポッド |
| ⑥ サポートレッグ | ⑬ 回転ロックレバー |
| ⑦ サポートレッグアジャストボタン | ⑭ リクライニングレバー |



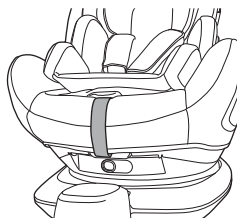
15 ヘッドサポートアジャストレバー

16 リバウンドバー

17 取扱説明書コンパートメント

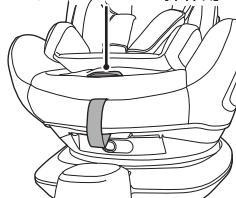
💡ポイント

アジャストベルトの穴の位置が、ブルー エアーとブルーでは異なります。ブルー エアーはベルトアジャスター操作作用の穴と同一、ブルーではベルトアジャスター操作作用の穴の下に、アジャストベルト用の穴があります。



ブルー エアー

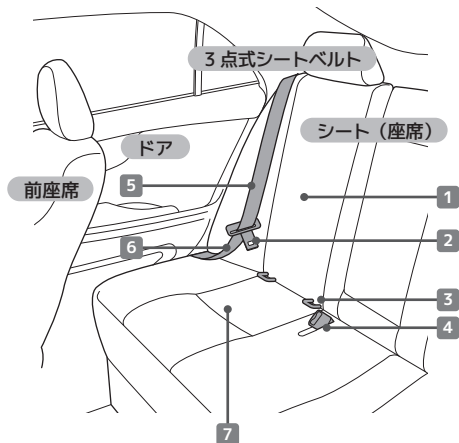
ベルトアジャスター操作作用の穴



ブルー

自動車に関わる各部の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の部位、部品に関して言及している箇所があります。本取扱説明書においては以下の通りの名称を用います。



- | | |
|---------------|-----------|
| 1 シート背もたれ | 5 シート肩ベルト |
| 2 シートベルトタング | 6 シート腰ベルト |
| 3 ISOFIX 固定装置 | 7 シート座面 |
| 4 シートベルトバックル | |

💡ポイント

自動車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）においては、別の名称で記載されている場合があります。必要に応じて、上図を参照し、自動車の取扱説明書の表記と照合するようにしてください。

シェルの向きと使用条件

本製品を使用できるお子さまの範囲と条件は、本製品の適合するチャイルドシート基準の UN Regulation No.129 (ECE R129) によって定められており、身長 40cm (体重 2.5kg 以上の新生児※) 以上から、身長 105cm かつ体重 19kg 以下のお子さまにご使用いただけます。

本製品は、シェルが前後に回転することにより自動車の進行方向に対して後ろ向き、または前向きにして使用することができますが、後ろ向きと前向きでは使用できるお子さまの範囲が異なります。本製品の適合する基準により、それぞれの使用可能範囲が定められています。

後ろ向き、前向きの使用条件

お子さまが生後 15 ヶ月かつ身長 76cm を超えるまでは、必ずシェルを自動車の進行方向に対して後ろ向きにして使用してください。

本製品は後ろ向き、前向きとも、身長 105cm かつ体重 19kg までは使用することができます。

この範囲にあてはまらない、また、本取扱説明書に記載されている条件に適合しない場合は、本製品を使用しないでください。

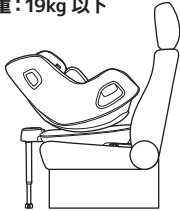
本製品は、体重 2.5kg 以上の新生児※からご使用いただけます。

※ここでいう新生児とは、体重2.5kg 以上かつ在胎週数37 週以上で出生したお子さまを指します。



使用可能なお子さまの範囲に満たない、または超えての使用は、思わぬ事故につながるおそれがあります。必ず「使用可能なお子さまの範囲」を遵守してください。

使用可能なお子さまの範囲

シェルの向きと 使用可能なお子さまの範囲	年齢※ ¹	リクライニング	インファントインサート
【後ろ向きでの使用】 身長：40-105cm まで 体重：19kg 以下 	4 歳頃まで	①～⑤	身長 60cm 未満かつ体重 13kg 以下のお子さまはインファントインサートを使用してください。インファントインサートはお子さまが窮屈な状態になるまで使用することができます。
【前向きでの使用】 身長：76-105cm まで 体重：19kg 以下 月齢：生後 15 か月を超えてから 	15 か月※ ² から 4 歳頃まで	①～⑤	前向きでの使用時はインファントインサートは使用できません。インファントインサートを取り外してください。

※¹ 年齢は参考です。身長と体重によってお子さまの使用可能な範囲が定められています。

※² 前向きにしての使用は生後15 か月を超えてからにしてください。

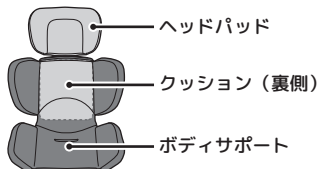
ポイント

本製品のシェル（お子さまが座るシート）は、後ろ向き使用時、前向き使用時ともに 5 段階でリクライニングを調節することができます。自動車の座面の角度や、お子さまの成長、状態に合わせて調節してください。

お子さまの月齢が低い期間、首がすわるまでの間は、後ろ向きで使用しますが、その際、リクライニングが立ちすぎないようにして使用してください。

インファントインサートの使用

インファントインサートは、後ろ向きでの使用時にのみ取り付けます。前向きでの使用時にはインファントインサートは使用できませんので取り外してください。インファントインサートの使用により側面からの衝撃を緩和する効果が期待できますので、身長が 60cm 未満かつ体重が 13kg 以下のお子さまには取り付け使用してください。本製品を後ろ向きで使用している間は、お子さまの成長、着衣により窮屈になるまでインファントインサートを使用することができます。お子さまの姿勢が窮屈になった場合は取り外してください。



インファントインサートは3つの部位で構成されています。

お手入れの際には各部を取り外してお手入れするようにしてください。

お手入れが済んだら、組み立て直してご使用ください。

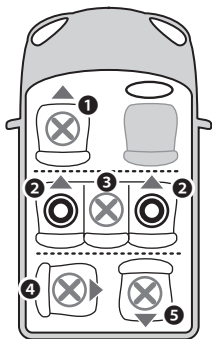
インファントインサートはすべてを組み立てた状態で使用してください。ヘッド
⚠警告 パッド、クッション、ボディサポート単体で、またはその一部のみ組み立て、組み合わせた状態では使用しないでください。

自動車の座席への取り付けに関して

取り付け、使用可能な座席の位置と向き

- ① 助手席・・・・・・・・・・取付使用不可
- ② 後列左右ドア側席・・・・取付使用可能
- ③ 後列中央席・・・・・・・・取付使用不可※
- ④ 進行方向横向きの座席・・取付使用不可
- ⑤ 進行方向後ろ向きの座席・取付使用不可

※ i-Size に対応する ISOFIX 固定装置を装備した座席の場合は取付可能な場合があります。当社の適合車種一覧では、中央席は調査いたしておりませんので、お車の取扱説明書をご確認ください。





自動車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）のチャイルドシートの取り扱いに関する記載を併せてご確認ください。



図で示した座席（シート）すべてに取り付けおよび使用可能とは限りません。
前図は、座席の位置と向きについて使用の可否を記載したものです。この位置と向きにあって、かつその他の条件を満たした座席にのみ取り付けが可能です。

i-Size

本製品は「i-Size」規格に対応しています。当社が特に指定しない限り、自動車の取扱説明書において、「i-Size 対応」と指定されている座席に取り付けて使用することができます。

ただし、i-Size 対応の座席であっても本製品の機能の使用が制限される場合がありますので、ご注意ください。また、自動車の1つの座席に取り付けが可能であっても、他の座席で取り付け可能とは限りません。

「i-Size 対応」と指定されていない自動車、座席でも、取付可能な場合がありますので、車種適合一覧にて、適合の可否をご確認ください。

本製品を取り付けできない座席

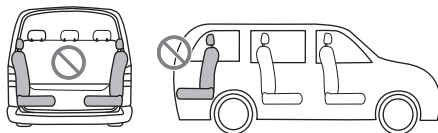
本製品は、全ての自動車、全ての座席（シート）で使用できるものではありません。本製品を取り付けて使用できる自動車、座席の情報については、お車の取扱説明書と適合車種一覧を参照してください。



以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

進行方向に対して前向き以外の座席

本製品は、本製品を前向きにして、車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ取り付け使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席や、バス、電車、航空機、船などの座席でも使用できません。



⚠危険 以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

フロントエアバッグを装備している座席

フロントエアバッグが作動すると、エアバッグが展開する際の急激な衝撃力によって、チャイルドシートが押し出され、お子さまが死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

万が一の事態に備え、機能解除ができる座席でも、フロントエアバッグを装備した座席での使用はお控えください。

また、自動車の取扱説明書をあわせて参照して、エアバッグの取り扱いに関してご確認ください。



助手席

本製品は、原則として自動車の取扱説明書において「i-Size 対応」と指定された座席には取り付けることができます。車種によっては、助手席が「i-Size」に対応している場合もありますが、当社では助手席での使用は推奨しておりません。衝突や急制動の際にダッシュボードにぶつかったりする他、運転に支障をおよぼすおそれもありますので、より安全な後部座席に取り付けてご使用ください。

本製品と干渉する座席

座席の可動部の操作時や座席の移動、ドアの開閉時にシェルやベースに干渉する座席には取り付け、使用しないでください。

チャイルドシートを安定して設置できない座席

レーシング用のバケットシートなどの極端な凸凹がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、チャイルドシートを取り付けるとドアやコンソールなど座席以外の構造物にチャイルドシートが接触する座席では、チャイルドシートが安定しないため取り付けることができません。取り付け作業中に、安定性に不安を感じた場合は、その座席には取り付けないようにしてください。

また、適合車種でも限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていたり、座席そのものが交換されているなどの場合もあります。これらの場合、チャイルドシートが安定して設置できないこともありますのでご注意ください。



ISOFIX 固定装置が装備されていない座席

本製品は、ISOFIX 固定装置が装備された座席でのみ使用することができます。ISOFIX 固定装置の装備されていない座席や、年式の古い車種に見られる、使用可能なチャイルドシートの機種が指定されている（自動車の取扱説明書において、チャイルドシートのメーカーおよび機種名までが指定されている）、ISOFIX 固定装置（スペシフィックヴィークル）が装備されている座席では取り付けおよび使用はできません。



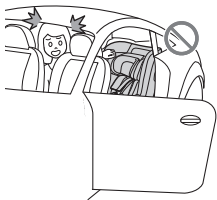
⚠危険 以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

チャイルドシートを使用することによって運転、操作に支障をきたす座席

チャイルドシートを使用すると、ドアミラーが見えにくくなったり、サイドブレーキやシフトレバー、ハンドル、ウインカーなどの操作に影響を与えて自動車の安全な運転に支障をきたすおそれのある座席では使用できません。

乗員の脱出に影響を与える座席

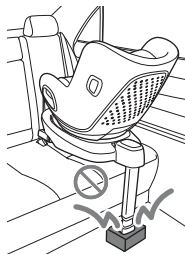
片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席など、チャイルドシートを使用することにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席では使用しないでください。実際に本製品を使用する前に、あらかじめ緊急時を想定して、取り付けようとする座席の上に本製品を置き、その状態で、すべての座席から他の乗員が容易に乗降できるかどうか、また、緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかを、あらかじめ確認してください。



たとえ「i-Size」対応の座席の場合でも、自動車の使用方法によっては、チャイルドシートを取り付けることにより、乗員の脱出などに影響が生じる場合がありますので、同様に確認をするようにしてください。

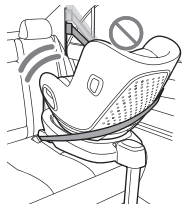
床面に構造物のある座席

本製品は、サポートレグを自動車の床面に接地させて使用します。このため、床面に収納ボックスなどの構造物がある座席では使用できません。



パッシブシートベルトが装備された座席

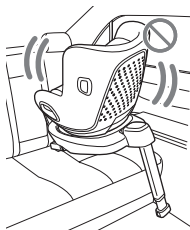
ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される、パッシブシートベルトが装備された座席では、本製品を使用できません。



⚠ 危険 以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

その他、しっかりと取り付けられない座席や動く座席

取扱説明書に従っても、しっかりと固定できない、安定しない、本製品の角度などに異常がある、サポートレッグが接地しない、取り付け作業中や使用中に動く座席など、正常に取り付けて使用できない座席では使用しないでください。



⚠ 注意 以下に示す座席では使用しないでください。この指示を守らないと、軽傷または中程度の傷を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりするおそれがあります。

固定式の側壁（コンソールなど）が装備されている座席

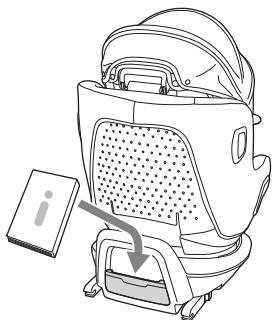
本製品のシェルの回転機構を使用すると、側壁（コンソールなど）が干渉して、自動車や本製品にキズが生じたり、破損したりするおそれがあります。



取扱説明書の常時携行

本取扱説明書は取扱説明書コンパートメントに保管し、必要な際にはいつでも参照できるようにしておいてください。

取扱説明書は、本製品を使用しなくなり廃棄するまで常に取扱説明書コンパートメントに保管して携行してください。



使用上の注意

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の同乗者の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。

ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しています。

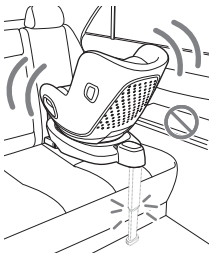


危険 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

本書および本体の表記に従って正しく自動車の座席に取り付けること

本取扱説明書や本製品の本体に記載されている指示、ならびに本製品を取り付ける自動車の取扱説明書の指示に従って、正しく自動車の座席に固定し、使用してください。

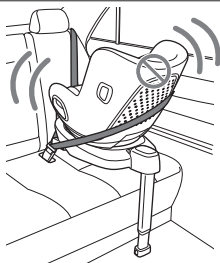
正しく固定されていないと、衝突や急制動の際に本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。



ISOFIX 固定装置以外の方法で固定しないこと

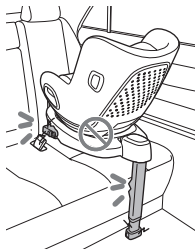
本製品は ISOFIX 固定装置に固定してのみ使用することができます。3 点式シートベルトを含み、それ以外のいかなる方法でも本製品を固定することはできません。

また、本製品を ISOFIX 固定装置に固定した上、3 点式シートベルトで追加の固定をしないでください。これにより安全性が増すことはなく、本製品の安全性能に影響を与え、思わぬ事故につながるおそれがあります。



本製品の取り付けに関わる部位や部品に異常が認められる場合は絶対に使用しないこと

衝突や急制動の際に本製品が外れたり大きく動くなどして、重大な事故につながるおそれがあります。ISOFIX コネクターやサポートレッグ、自動車の座席の ISOFIX 固定装置に異常がある場合は取り付けおよび使用をしないでください。

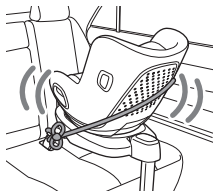




危険 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

追加しての固定をしないこと

本製品は、取扱説明書および本体で指示する方法でのみ自動車の座席に固定して使用することができます。ひもや帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどを固定に使用してはいけません。また、正しく固定した上に、これらのもので補強してもいけません。これらのものが、本製品の固定に影響を与えたり、お子さまの首や身体に引っかかるなどして重大な事故につながるおそれがあります。



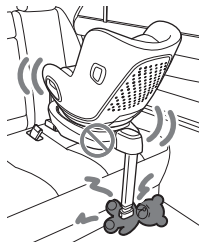
サポートレッグの長さを適切に調節して、サポートレッグの先端が確実に床面に接するようにすること

サポートレッグを正しく使用してください。サポートレッグの長さを調節して、先端が自動車の床面に確実に接するようにして使用します。



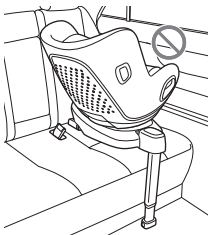
サポートレッグの下や周囲に物を置かないこと

サポートレッグは、安全上大変重要な部品です。サポートレッグは、自動車の床面に接地させますので、サポートレッグの下に物を置かないでください。また、サポートレッグが正しく機能しなくなるおそれがありますので、サポートレッグの周囲、特にサポートレッグの前に物を置かないようにしてください。



指定以外の向きで使用しないこと

本製品はサポートレッグを前にして自動車の座席に固定して、お子さまの身長および体重に応じて、自動車の進行方向に対してシェルを後ろ向き、または前向きのいずれかに固定して使用します。お子さまの乗せ降ろし時を除きシェルを横向きや斜め向きの状態にして使用しないでください。

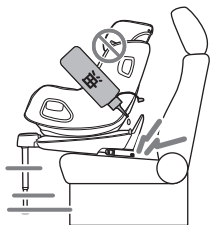




危険 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

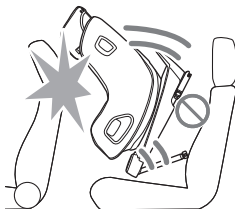
いかなる目的でも注油しないこと

本製品にが安全に機能しなくなるおそれがあります。お手入れや操作をスムーズにするためなどの目的、方法でも、絶対に本製品に注油や潤滑剤を使用してはいけません。



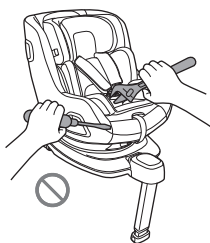
使用しない場合でも、車内では本製品を必ず固定しておくこと

お子さまを乗せて使用しない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には、本取扱説明書の指示に従い、自動車の座席に正しく固定しておいてください。正しく固定されていないと、衝突や急制動の際に本製品が移動し、運転操作の邪魔になったり他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



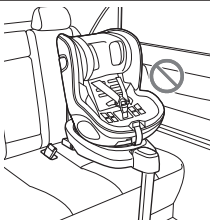
チャイルドシートを分解したり改造したり、指定外の部品を取り付けて使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品の適合する規格、基準に関わる管轄当局の承認なしに本製品に変更を加えたり、部品などを追加することは禁止されています。また、指定外のソフトパッドやインサート類を使用したり、本製品付属のインファントインサートに加工をしたりしないでください。



カバー類や部品を外して使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本取扱説明書で別段の指示がない部品を取り外して使用しないでください。カバー類やウレタン、衝撃緩衝材も安全に関わる重要な部品ですので、決して取り外して使用しないでください。また、同様にチャイルドシートに貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないでください。





以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

EPP / EPS フォーム（白い衝撃緩衝材）を取り外さないこと

本製品の内部に取り付けられている EPP / EPS フォームは、本製品の安全性に関わる重要な部品です。絶対に取り外さないでください。

指定以外の耐荷重点点を使用しないこと

本製品を取り付け、使用するにあたり、本書および本製品に表記されている耐荷重点点以外を使用しないでください。本製品の取り付け、使用にあたっては、必ず本書および本製品に表記されている指示に従ってください。

本製品は取扱説明書および自動車の取扱説明書の内容を理解した大人の方が操作すること

本製品を誤った状態で使用すると、お子さまばかりか、他の乗員の方にも危険がおよぶおそれがあります。たとえ使用方法を理解していたとしてもお子さまに操作をさせないでください。また、第三者に本製品を使用させる場合にも、本書を必ず参照させて本製品を正しく使用できるようにしておいてください。

本製品の取り付け、設置場所に注意すること

取り付け、設置する場所によっては、お子さまが可動式の座席や自動車のドアに挟まれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。あらかじめ安全を確認した上で取り付け、使用してください。

指定外のアクセサリを追加して使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。チャイルドシート用とされていても、当社指定外の市販のマットやソフトクッションなどを本製品に追加して使用しないでください。

取扱説明書は所定の取扱説明書コンパートメントに入れておくこと

いつでも取り扱い方法を確認できるよう、本書は常にベース背面の取扱説明書コンパートメントに入れて保管しておいてください。

使用条件を厳守すること

本製品は適合する基準によって使用できるお子さまの条件が定められています。この使用条件を守らないと、本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。後ろ向き、前向き、それぞれ使用できるお子さまの条件が定められています。本製品は、それぞれの条件に適合した状態でのみ使用することができます。



指定外のカバー類やソフトパッド、クッション類を使用しないこと

本製品のカバー類やソフトパッド類、衝撃緩衝材も本製品の安全性能を構成する重要な部品類です。本製品が安全に機能しなくなるおそれがありますので、本製品に付属または当社が指定するカバー類やソフトパッド、クッション類以外のものを使用してはいけません。

⚠危険 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

ハーネスを正しく調節して常に装着すること

ハーネスは、正しく調節して、ねじれがないことを確認して使用します。
ハーネスの腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通るように位置を調節して常にバックルを留めておくようにしてください。



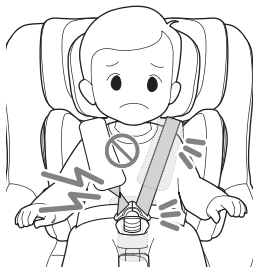
お子さまを正しく座らせて使用すること

本取扱説明書の記載に従い、本製品を正しく調節して、正しくお子さまを座らせて使用してください。シートベルトを間違えて使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。



ハーネスを正しく調節し、ハーネスや股ベルトにねじれ、ゆるみがないようにして装着すること

ハーネスは、高さとしさを正しく調節してねじれがないことを確認して、しっかりと締め付けて使用します。
股ベルトパッド、肩ベルトパッドを取り付けて、すべてのハーネスにねじれがないように装着してください。



ハーネス以外をお子さまに装着させないこと

お子さまの固定のために、ひもや、帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどを使用してはいけません。また、ハーネスを装着した上に、これらのもので補強してもいけません。ハーネスが正しく使用されていても、これらのものが、お子さまの首や身体に引っかかりたり、ハーネスに干渉するなどして重大な事故につながるおそれがあります。





以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

お子さまを自動車内に放置しないこと

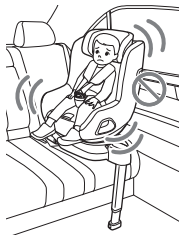
チャイルドシートの使用の有無に関わらず、いかなる場合でも、どれだけ短い時間でも、お子さまを自動車の中に放置してはいけません。日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、誤って自動車の操作をしたりシートベルトに絡まるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



シェルは、後ろ向き、前向きのいずれかの向きで固定して使用すること

本製品は、お子さまの乗せ降ろしのときや、後ろ向き、前向きの切り替えの際に、シェルを回転させることができます。実際に使用する場合は、シェルは、後ろ向きまたは前向きのいずれかの向きで、確実に固定しなければなりません。シェルを横や斜めに向けた状態では絶対に使用しないでください。

後ろ向き、前向きでは、それぞれ使用可能なお子さまの範囲が異なりますので本書の指示に従って正しい向きでご使用ください。



ハーネスが正しく装着されていることを適宜確認すること

ハーネスは常に適切に調節して使用してください。適宜ハーネスの状態を確認し、お子さまの成長や着衣の状況に応じて、適切な状態になっていることを確認してください。

体型が合わなくなった場合は使用しないこと

お子さまが使用可能な範囲の条件に適していたとしても、本製品に正しくお子さまを乗せた際に、ハーネスを調節してもお子さまの身体を正しく固定できない場合には、本製品が所定の安全性能を発揮できませんので使用を中止してください。

チャイルドシートを使用すること

多くの自動車事故が、短い距離、短い時間の移動時に発生しています。どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、必ずチャイルドシートを常に正しく使用するとともに、慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

お子さまから目を離さないこと

本製品は、常に保護者の目が届く状態で使用してください。絶対に、お子さまを本製品に乗せたままその場を離れるなどして放置してはいけません。安全に配慮しつつ、お子さまの状態、様子には、常に注意を払ってください。

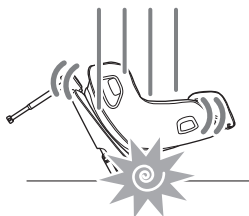
生後 15 ヶ月までは後ろ向きでのみ使用可能

お子さまが生後 15 ヶ月を超えるまでは後ろ向きで使用し、シェルを前向きにして使用しないでください。

⚠ 警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

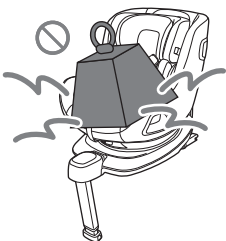
強い衝撃を受けた場合、損傷した場合、部品が欠落した場合は使用を中止すること

交通事故にあった、落下させた、車のドアで強くはさんだなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は絶対に使用しないでください。また、本製品の部品が欠落したり紛失した場合も使用してはいけません。目には見えない損傷や部品の欠落の影響によって本製品が安全に機能しなくなっている可能性があります。このような場合は保証の対象外となり、また安全性が担保できないため修理もできませんので、新しい製品をご購入いただく必要があります。



本製品に過度の負担を掛けないこと

本製品が損傷して所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本製品に重いものを載せたり、ドアや自動車の座席のリクライニングで強く挟むなどしたりしないでください。また、本製品が損傷した場合は使用を中止してください。

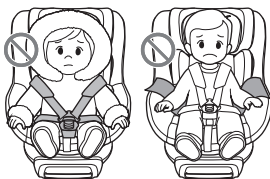


不適切な着衣で使用しないこと

お子さまがサイズの大きすぎる服や、厚みのありすぎる服などを着用していると、本製品のハーネスで正しく固定できず、お子さまがチャイルドシートから落下したり、飛び出したりするおそれがあります。また、ケープ、毛布など衣服ではないものや、おくるみなど、両足が出ない（股ベルトを両足で挟めない）構造の着衣でチャイルドシートを使用しないでください。厚みのあるダウンジャケットなど厚着をしている場合には、お子さまの身体が確実にチャイルドシートに固定されるよう、ハーネスなどを正しく調節してください。

正しく調節できない場合は、お子さまの身体が正しくチャイルドシートに固定できるよう、着衣を調節してください。

また、衝突や急制動の際に、お子さまが滑りやすくなりますので、毛布や座布団などの敷物をお子さまの下にしないてください。



⚠ 警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

チャイルドシートの下にクッションや敷物などを敷かないこと

チャイルドシートと座席の間に、座布団やクッションなどの敷物を敷くと、チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

チャイルドシートを正しく取り付け付けた際に、自動車の座席にくぼみやキズが生じる可能性があります、あらかじめご了承ください。



走行前には、毎回チャイルドシートの取り付け状態を確認すること

他の同乗者やお子さまが触れるなどして、必要な固定部位が解除されたりしているおそれがあります。走行前には、毎回チャイルドシートが正しい状態になっていることを確認してください。



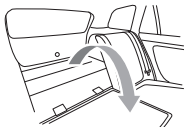
走行中は、チャイルドシートを操作しないこと

自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。取り付け状態の確認や、ハーネスの装着状態の確認でも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、取り付け状態や、お子さまの固定状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認や操作を行ってください。



可倒式座席の場合、確実に背もたれを固定すること

自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席／トランクスルー）で本製品を使用する場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。



本製品を取り付けた後に、自動車の座席のリクライニング操作や座席の移動をした場合には状態を確認すること

本製品を自動車の座席に取り付けた後に、取り付けた自動車の座席のリクライニング操作や座席の位置を前後に移動させる操作をすると、固定の状態が変化する可能性があります。これらの操作をした後には、取り付け状態を確認してください。

⚠ 警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

指定外のインファントインサートを使用しないこと

本製品には、インファントインサートが付属しています。このインファントインサートは、安全基準を満たした部品ですので、指定外のソフトパッドやインサート類をこれに替えて使用したり、追加して使用したり、本製品付属のインファントインサートに加工をしたりしないでください。

中古品や劣化した本製品を使用しないこと

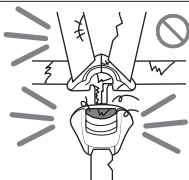
中古品や過去の使用履歴や保管状況、使用状況が不明なチャイルドシートは使用しないでください。

見た目では判断できない構造的損傷のある可能性もあります。また、再利用による事故を防ぐため使用しなくなった本製品は、「使用不可・廃棄品」と明示し、再利用ができない状態にして廃棄するようお願いいたします。



バックル、ハーネスに異常がある場合は使用しないこと

本製品の使用中に、お子さまが飛び出したり、落下したりするおそれがあります。本製品のバックル、ハーネスに異常を感じた場合は、使用を中止してください。



目的外で本製品を使用しないこと

本製品は、チャイルドシートとしてのみ使用することができます。本来の目的以外で使用すると、本製品が落下や転倒をしたり、お子さまが落下したりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

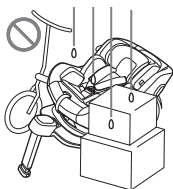


⚠ 警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

お子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げないこと

お子さまがチャイルドシートから落下したり本製品が落下したりするなどして、思わぬ事故につながるおそれがありますので、たとえハーネスでお子さまが正しく固定されていたとしてもお子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。

また、サポートレッグが突然開いてケガをするおそれがありますので、本製品を持つ場合にはサポートレッグが開かないようにサポートレッグに手を添えて持つようにしてください。



不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり、変質するなどして本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管した本製品を使用してはいけません。



使用しない場合でも、車室内では本製品を必ず固定しておくこと

お子さまを乗せて使用しない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には、ISOFIX 固定装置で自動車の座席に固定してください。正しく固定されていないと衝突や急制動の際に本製品が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

本製品に破損や異常がある場合や部品が欠落している場合、部品を取り外した状態では使用しないこと

衝突や急制動の際に本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあり、また本製品の破損部により思わぬ事故につながるおそれがあります。



ISOFIX コネクターや ISOFIX 固定装置を清潔に保つこと

ISOFIX コネクターや ISOFIX 固定装置に、食べかすや汚れ、ほこりが付着していると本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。これらを常に清潔に保つようにして必要に応じて正しくお手入れするようにしてください。



注意 以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえる可能性があります。

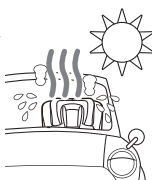
車内の物品は固定しておくこと

急制動などの際に、チャイルドシートを使用しているお子さまのみならず他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある動く物品は適切に固定するようにしてください。



部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、チャイルドシートの金属部品や樹脂部品が日光により過度に加熱していないか確認してからお子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、直射日光を避けて日陰に駐車したりチャイルドシートに覆いをしたりするなどして加熱を防ぐようにしてください。



トランク内での保管に注意すること

本製品の破損につながるおそれがあります。本製品を自動車のトランクに入れて保管する場合は本製品の上に他の物を載せないように注意してください。また、トランク内は高温になりますので長期間にわたるトランク内での本製品の保管は避けてください。

ハーネスなど本体以外の部分を持って本製品を持ち上げないこと

本製品を持ち上げる際にハーネスを持ったりインファントインサート、生地部分、キャンピーを持つなどして持ち上げないでください。本製品が破損、落下するおそれがあります。

本製品を持つ場合はサポートレグを手で支えながらベース部分を持つようにしてください。

バックルやハーネスを自動車のドアやシートに挟まないよう注意すること

本製品のバックルやハーネスを自動車のドアやシートで挟まないように注意してください。また、バックルにほこりやゴミが付着したり入り込まないように、お子さまを乗せていない場合でもバックルを留めておくようにしてください。

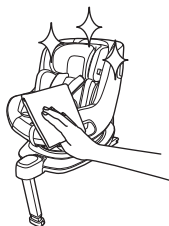




注意 以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえる可能性があります。

適切な方法でお手入れすること

チャイルドシートが安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメンテナンスの際に、稼働部、接合部に潤滑油を使用してはいけません。本製品のお手入れは本取扱説明書の指示に従っておこなうようにしてください。



お子さまの手足を挟まないようにすること

重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を操作する際に、お子さまの手足に注意し、本製品と自動車の座席との間や本製品の回転機構部などに手や足、指を挟まないよう注意してください。

ISOFIX ガイドに汚れが付着していないか適宜確認すること

汚れ、ホコリ、食べかすなどが ISOFIX ガイド内に侵入すると本製品の固定に影響をおよぼすおそれがあります。ISOFIX ガイドは必要に応じて取り外してお手入れしてください。

ご使用前にお使いの自動車の座席に正しく本製品を取り付けられるか、ご確認ください

正しく取り付けできないと、衝突や急制動の際に、本製品が所定の安全性能を発揮することができません。

長期間使用しない場合は自動車の座席から取り外してください

本製品を長期間使用しない場合は、自動車の座席に取り付けたままにせず座席から取り外して車外に出して適切に保管してください。

長時間連続して使用しないこと

お子さま、特に新生児期のお子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレスや疲労をあたえる可能性があります。より快適にご使用いただくために適宜お子さまをチャイルドシートから降ろして、お子さまが自由に動けるようにしてあげてください。また、安全運転のためにもなりますので最低でも1時間に1度は連続した休憩をとるようにしてください。

疑問点やご不明な点は、販売店またはチャイルドシートメーカーにお問い合わせください

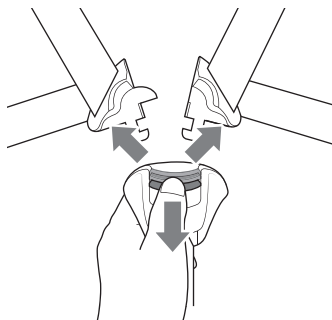
補修やお手入れ、メンテナンスについて疑問がある場合は、本製品をお買い求めになった販売店または巻末に記載のお客サービスにお問い合わせください。

緊急時の操作

交通事故などの緊急時には、あわてず本製品のバックルボタンを押し下げてハーネスを外し、速やかにお子さまを自動車外に脱出させてください。

そして直ちにお子さまの応急処置を行い、医師の診断を受けるようにしてください。

お子さまの脱出の際に、ハーネスや自動車のシートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。バックルボタンが機能しない場合は、以下の方法でお子さまを脱出させてください。



バックルボタンが機能しない場合

ISOFIX コネクターを外し本製品ごと取り外す
シートベルトカッターでハーネスを切断する

基本的な使いかた

ここでは、本製品の基本的な使いかたについて説明しています。実際に使用する際は、お子さまの体重や体格、月齢に合わせて調節してください。

⚠危険 適切に使用すること。不適切な使用は、思わぬ事故につながります。本書に記載されているすべての事柄を理解して、本製品を正しく取り付け、お子さまの身長、体重、体格、月齢に応じて本書の指示に従い、適切に使用してください。

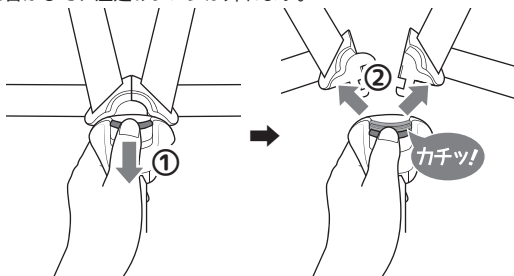
バックルの使いかた

⚠注意 本製品のバックルに磁石が使用されています。磁石により影響を受ける機器などを近づけないようにしてください。また、ペースメーカーを使用されている場合は、磁石により影響を受けるおそれがありますので使用を避けてください。

バックルの外しかた

01

バックルを外すには、受けバックルを握ってバックルボタンを押し下げます。「カチッ」と音がして、差込みタングが外れます。

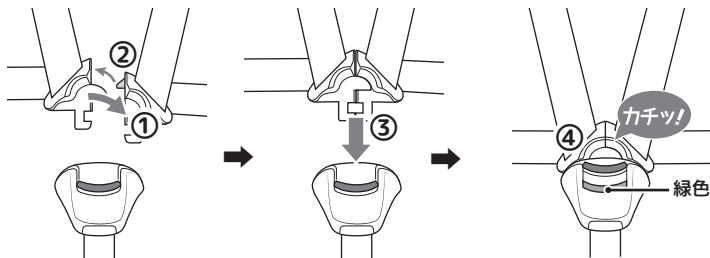


⚠注意 バックルの操作は固めです。バックルは、安全のため操作が固めになっています。お子さまの腹部を押さないように、受けバックルを手で握ってバックルボタンを操作してください。

バックルの留めかた

01

バックルを留めるには、①向かって左側の差込みタングを、右側の差込みタングに乗せるようにして、②右側の差込みタングの先端部の突起を左側の差込みタングに差し入れます。③そのまま受けバックルに差し込み、④「カチッ」と音がするようにしてバックルを留めます。バックルが正しく留まると、バックルボタンの下に緑色のインジケーターが現れます。



02

軽くハーネスを引いて、バックルがしっかりと留まっていることを確認してください。

💡ポイント

バックルの破損、汚損、ケガを防ぐため、お子さまが使用していないときや保管するときもバックルは常に留めておくようにします。

⚠️危険

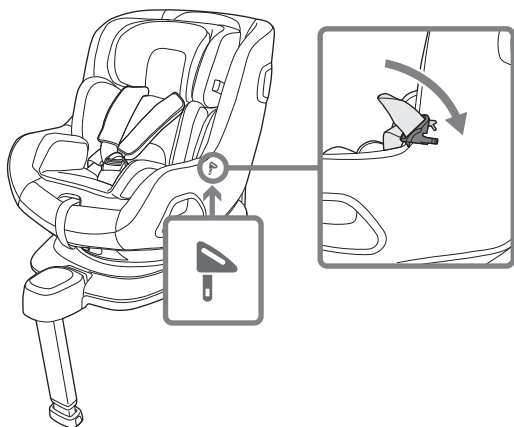
バックルは確実に留めて使用してください。バックルが正しく留まっていないと、本製品の使用中に急にバックルが外れ、お子さまが本製品から飛び出したり、落下したりするなどして重大な事故につながるおそれがあります。バックルに異常がある場合は、ただちに本製品の使用を中止して、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。

⚠️注意

バックルを清潔に保ってください。バックルの中に食べかすやゴミが入らないよう注意してください。お子さまを乗せて使用しない場合でも、常にバックルは留めておくようにしてください。

差込みタング受け

本製品には、お子さまの乗せ降ろしに便利な差込みタング受けが装備されています。シェルの左右側面にある差込みタングの図が刺繍された部分にはマグネットが内蔵されています。バックルを外して刺繍された部分に差込みタングを乗せるとマグネットで留めておくことができます。



⚠ 注意 マグネット（磁石）が使用されています。一部の医療機器には影響を与えるおそれがありますのでご注意ください。また、時計、磁気テープ、磁気カードなど磁気の影響を受けるおそれがあるものは近づけないでください。

ハーネスの長さ調節

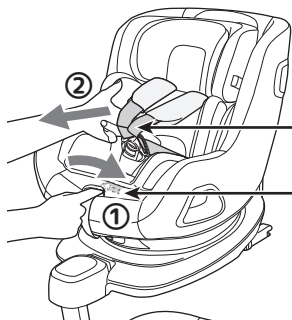
お子さまの体格や月齢、着衣の状態に応じて肩ベルト（ハーネス）の長さを調節します。



危険 肩ベルト（ハーネス）は必ず適切な長さに調節してください。肩ベルトが締められすぎていたり、ゆるんでいたりすると、衝突や急制動の際にお子さまが本製品から飛び出したり肩ベルトが首に絡まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

01

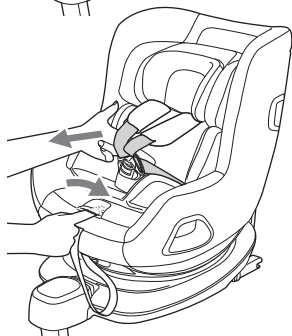
肩ベルトをゆるめるには、①シートの前端のベルトアジャスターボタン（穴の中にありますので外側からは目視できません）を押し込みながら、②肩ベルトを持って、ゆっくりと手前に引き出します。肩ベルトパッドを持つと、肩ベルトの引き出しができませんのでご注意ください。



ブルー エアー

肩ベルトを持って引き出します。
肩ベルトパッドを持つと、
肩ベルトの引き出しができません。

ベルトアジャスターボタンは穴
（切れ込み）の中にあります。
外側からは見えません。

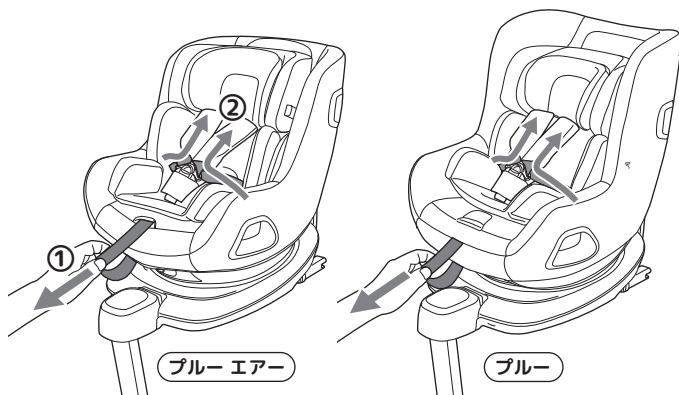


ブルー

操作方法はブルー エアーと同じです。
ベルトアジャスターの位置も同じ
ですが、ブルーの場合はベルトア
ジャスター操作専用の穴（切れ込
み）になっています。

02

①アジャストベルトを手前に引くと、②肩ベルトが締まります。



ブルー エアーとブルーでは、アジャストベルトの取り出し口の位置が異なります。

⚠ 注意

アジャストベルトはゆっくりと引いてください。勢いよく強くアジャストベルトを引くと、お子さまに過剰な負担がかかるおそれがあります。ハーネスが締めすぎると、お子さまに負担が掛かります。肩ベルトは、お子さまとの間に大人の方の掌を差し込める程度に締め付けてください。

ハーネスの高さ調節

ヘッドサポートと肩ベルト（ハーネス）の高さは連動しています。ヘッドサポートの高さを調節すると、自動的に肩ベルトの高さも調節されます。お子さまの成長に合わせて、ヘッドサポートと肩ベルトの高さを適切に調節してください。

⚠ 危険 肩ベルトは必ず適切な高さに調節してください。肩ベルトの高さが適切でない
と、衝突や急制動の際にお子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子
さまの首に絡まるなどとして、重大な事故につながるおそれがあります。

参照 P63 > お子さまの乗せ降ろし > 07

01

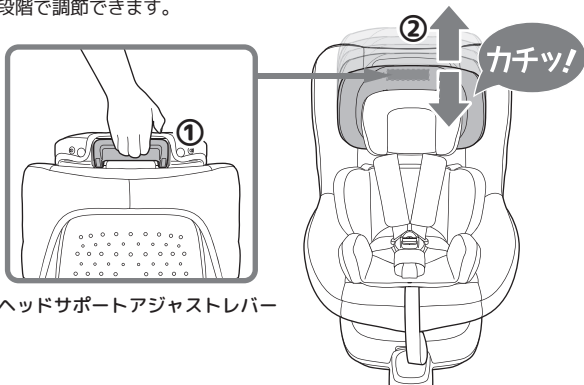
あらかじめ、ハーネスをゆるめておきます。

参照 P35-36 > ハーネスの長さ調節

💡ポイント ハーネスとヘッドサポートは連動しています。ハーネスをゆるめておかないと、
ハーネスが伸びきって、ヘッドサポートが高くなる方向に動きません。

02

①ヘッドサポートアジャストレバーを握りながら、②ヘッドサポートを上下にスライドさせて、ヘッドサポートの高さを調節します。目的の高さで握った手を放して軽く上下に動かすと「カチッ」と音がしてヘッドサポートが固定されます。ヘッドサポートの高さは6段階で調節できます。



インファントインサート

身長が 60cm 未満かつ体重 13kg 以下のお子さまは、インファントインサートをお使いください。

参照 P14 >インファントインサートの使用

取り外し、取り付け

01

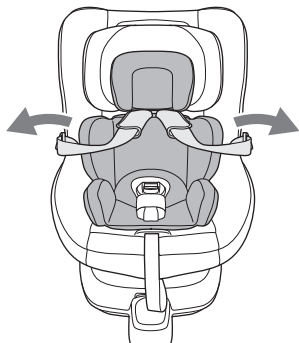
インファントインサートを取り外します。
あらかじめハーネスをゆるめておきます。

参照 P35-36 >ハーネスの長さ調節

02

バックルを外し、差込みタングをシェルの外側に出して差込タング受けに留めておきます。左右とも同じようにしてください。

参照 P34 >差込みタング受け



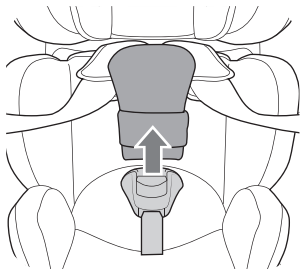
03

以下を参照して股ベルトパッドを受けバックルから抜き取ります。

参照 P69 >股ベルトパッド

⚠ポイント

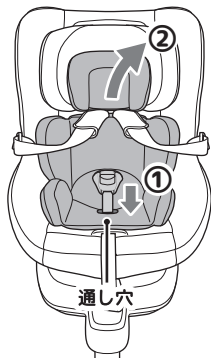
股ベルト（股ベルトパッド）の抜き取り、取り付けは操作が固めです。インファントインサートを取り付ける場合は、先にインファントインサートを受けバックルに通してから股ベルトパッドを取り付けてください。



警告 股ベルトパッドは、必ず取り付けなおしてください。股ベルトパッドが取り付けられていないと、本製品が所定の安全性能を発揮できません。

04

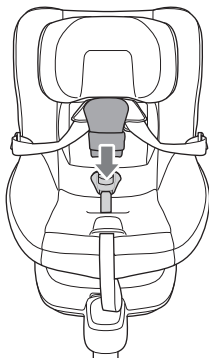
①インファントインサートの通し穴から受けバックルを抜いて、②インファントインサートを取り外してください。



05

股ベルトパッドを取り付けてバックルを留めます。

参照 P69 >股ベルトパッド



インファントインサートの取り付けは、取り外しの逆の手順で行ってください。

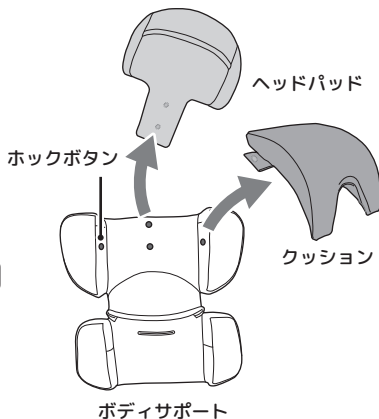
インファントインサートの分解

インファントインサートはお手入れのために分解することができます。

01

ヘッドパッドとクッションは、ボディサポートの裏側にそれぞれホックボタン（2カ所）で取り付けられています。ホックボタンを外して、ヘッドパッド、クッションを取り外してください。

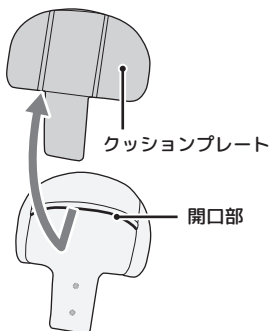
⚠注意 クッションは洗濯できません。



02

ヘッドパッドをお手入れ（洗濯）する場合には、ヘッドパッドに内蔵されているクッションプレートを取り外してください。

クッションプレートはヘッドパッド裏面の開口部から抜き取ることができます。



クッションプレートを取り付ける場合には、樹脂プレート側をヘッドパッドの開口部側（裏面側）にして取り付けてください。



注意

破損のおそれがありますので、クッションプレートは洗濯できません。

03

インファントインサートの組み立ては逆の手順で行ってください。

インファントインサートは、ボディサポート、クッション、ヘッドパッド（クッションプレート）のすべてを組み立てた状態でのみ使用できます。

参照 P14 > インファントインサートの使用

SIP（サイドインパクトプロテクション）ポッド

本製品には事故時などに生じる側面からの衝撃を緩和する安全機構の SIP（サイドインパクトプロテクション）ポッドが同梱されています。

SIP ポッドは、お子さまを乗せて使用する状態で自動車のドア側のシェルに取り付けてください。

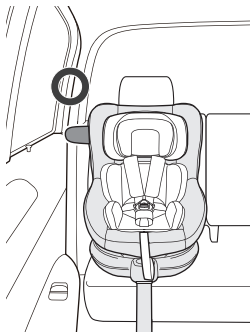
SIP ポッドは 2 個同梱されていますが、1 つは予備となります。SIP ポッドを 2 個同時には使用しないでください。

また、実際にご使用になる前に、SIP ポッドを取り付けてみて、ドアの開閉に干渉しないかご確認ください。シェルを回転した際に車内の構造物に干渉する場合は SIP ポッドを取り外して使用してください。

シートの向きに注意してください。SIP ポッドは、お子さまを乗せて使用する状態で、自動車のドア側になるように取り付けます。本製品はシェルを回転させて後ろ向き、または前向きで使用するので、本製品を使用する向きに応じて左右を確認して SIP ポッドを取り付けてください。



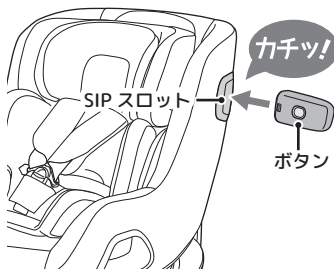
中央席側（他の乗員側）には取り付けないでください。事故や衝撃を受けた際に、中央席側の乗員に SIP ポッドがあたりケガをするおそれがあります。



01

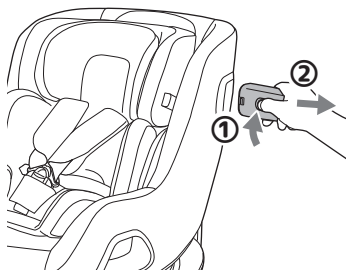
取り付けるには、SIP ポッドを取り付ける側の SIP スロットに、ボタンを手前側にして差し込みます（シートを前側から見た状態の手前側です）。

「カチッ」と音がして、SIP ポッドが固定されたことを確認してください。



02

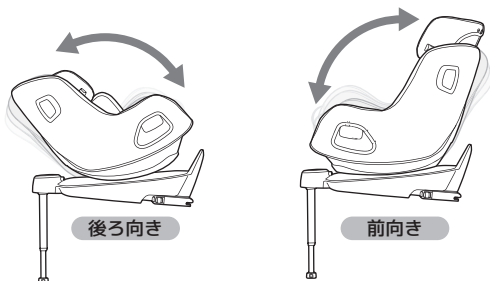
取り外すには、① SIP ポッドのボタンを押しながら、②引き抜きます。



リクライニング

本製品にはシェルの角度を変えるリクライニング機構が装備されています。

リクライニングは、5 段階で調節可能です。後ろ向き使用時、前向き使用時とも 5 段階で調節して使用することができます。

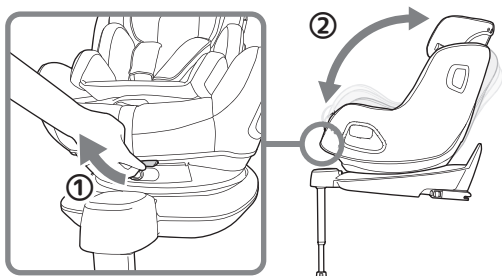


💡ポイント

リクライニングは、お子さまの成長に応じて適切に調節してください。特に、月齢の低い間は、お子さまの様子を常に確認しながらリクライニングの調節をするようにしてください。

01

シェルの座面部先端下の①リクライニングレバーを押し上げて、②シェルの角度を調節します。



リクライニングレバーは、シェルの座面部先端の下にあります。後ろ向きにして
⚠ 注意 使用している場合は、手を自動車の座席の背もたれの間に差し入れて操作することになりますので、本製品との間に挟まれないように注意してください。

キャンपीー（プルー エアーのみ）

プルー エアーにはお子さまの日除けになるキャンपीーが付属しています。キャンपीーは着脱できますので、必要に応じて取り付け、取り外ししてください。

取り付け、取り外し

01

取り付けるには、あらかじめハーネスをゆるめて、キャンピースロットが見える高さまでヘッドサポートを上げておきます。

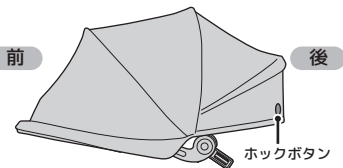
参照 P35-36 >ハーネスの長さ調節

参照 P37 >ハーネスの高さ調節



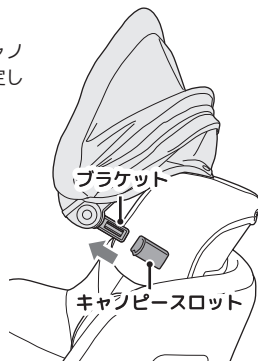
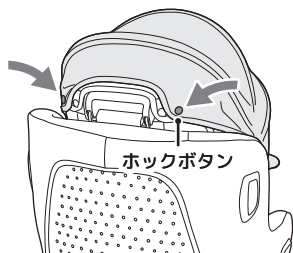
02

キャンピーの前後を確認します。ホックボタンのある側が後ろ側になります。



03

キャンピーのブラケットをヘッドサポート左右のキャンピースロットにそれぞれ差し込んで、キャンピーを固定します。



04

キャンピー後部のホックボタンをヘッドサポートに留めます（2カ所）。

💡ポイント

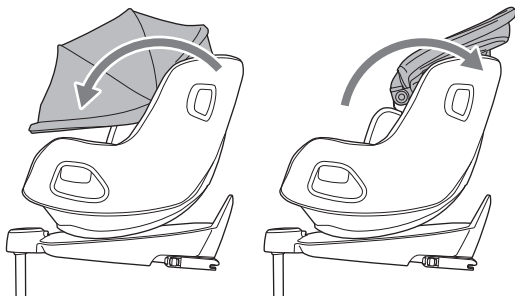
ヘッドサポートの高さが低すぎるとホックボタンを留めることができません。ボタンが留めにくい場合は、ヘッドサポートをさらに高く調節してください。

05

キャンピーの取り外しは逆の手順で行います。

使いかた

キャンピーの先端を持って前後に動かすとキャンピーを開閉することができます。



⚠ 注意 キャンプーを閉じるとお子さまの様子を確認しにくくなります。特に月齢の低い
お子さまの場合は、適宜キャンプーを開いてお子さまの様子を確認するようにし
てください。

シェルの回転

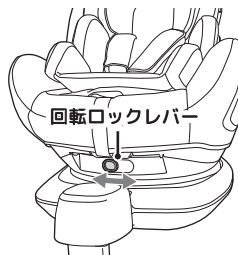
本製品はシェルを回転させて、後ろ向き、前向きにして使用することができます。
前向きにしての使用は、お子さまの身長が 76cm を超え、かつ生後 15 ヶ月を超えてか
らとなります。それまでの期間は、後ろ向きでのみ使用することができます。
本製品では、誤ってシェルを前向きにしないようにする回転ロック機構を装備してい
ます。回転ロック機構を使用すればシェルは前向きに回転できなくなりますので、誤使用
のリスクを軽減して、より安心して本製品をご使用いただけます。
回転ロック機構は、シェル前端下部の回転ロックレバーを操作して使用します。

ポイント シェルを回転させる場合は SIP ポッドの向きを確認してください。SIP ポッドは
お子さまを乗せる状態にしてドア側になるようにシェルに取り付けます。

回転ロック機構

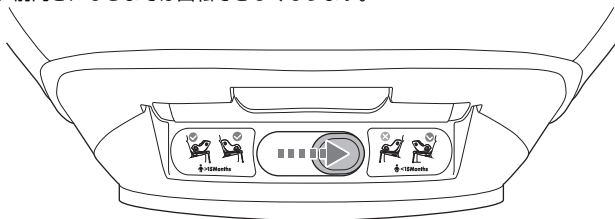
01

回転ロックレバーを左右にスライドさせて回転ロック機構
を操作します。



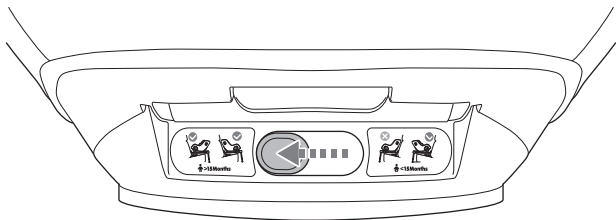
02

お子さまが生後 15 ヶ月かつ身長 76cm を超えるまでは、後ろ向きでのみ使用すること
ができます。この場合、回転ロックレバーを右にスライドさせてシェルの回転をロック
してください。これにより、シェルはお子さまの乗せ降ろしのために横向きには回転し
ますが、前向きになるまでは回転できなくなります。



03

お子さまが生後 15 ヶ月、身長 76cm を超えて前向きで使用することができるようになったら、回転ロックレバーを左にスライドさせて回転ロックを解除してください。これにより、シェルは後ろ向き、前向きのどちらにも回転できるようになります。



💡ポイント

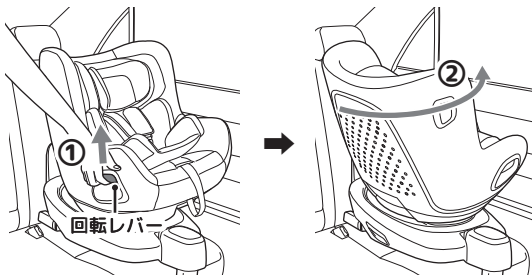
本製品は、前向きでの使用可能最終期まで後ろ向きでも使用することができます。前向きで使用しない場合は、回転ロックレバーは右にスライドさせたまままでご使用いただけます。

回転のしかた

01

前向きから後ろ向きに回転させます。

シェルの左右にある①回転レバーを引き上げて、②シェルを回転させます。シェルを横向きの状態にすると、お子さまの乗せ降ろしがしやすくなります。



⚠️ 注意 シェルは横向きの状態では固定されませんのでご注意ください。

💡ポイント

回転レバーは左右両方を操作する必要はありません。いずれか一方を引き上げれば回転させることができます。

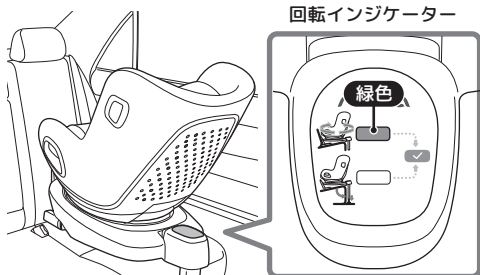
02

そのままシェルを後ろ向きになるまで回転させると、「カチッ」と音がしてシェルが後ろ向きで固定されます。シェルを軽く動かして確実に後ろ向きで固定されていることを確認してください。



03

ベース先端部の回転インジケーターが緑色になっていることを確認してください。赤色になっている場合はシェルが固定されていないので、操作をやり直してください。



💡ポイント

回転ロックレバーの状態に関らず、前向きから後ろ向きへの回転は可能です。回転ロックレバーが右側にスライドされてロック状態になっている場合、前向きから後ろ向きへの回転はできません。

04

後ろ向きから前向きへの回転も操作方法は同様です。ただし、前向きになるまで回転させるには回転ロックレバーを解除の状態（左側にスライドされている）にしておく必要があります。

前向きに回転させた場合もベース先端部の回転インジケーターが緑色になっていることを確認してください。

参照 P45-46 > 回転ロック機構

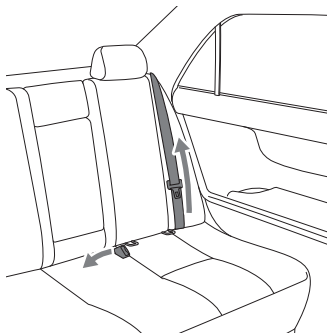
自動車の座席への取り付けかた

⚠ 注意 安全のため、取り付け、取り外しの作業中はお子さまを近づけないようにしてください。

取り付けかた

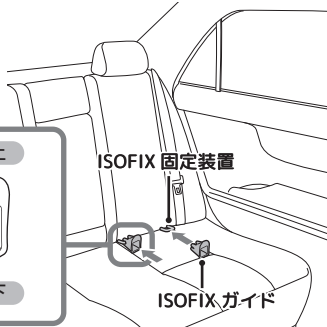
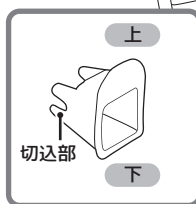
01

本製品を取り付ける座席のシートベルトは、留めずに巻き取るなどして邪魔にならないようにしておきます。シートタングやシートバックル、その他のものの上に本製品を乗せないようにしてください。



02

ISOFIX ガイドを、座席の ISOFIX 固定装置に差し込みます。ISOFIX ガイドの切込部を ISOFIX 固定装置に差し込むようにして取り付けてください。



💡ポイント

車種によっては、ISOFIX ガイドを差し込めない場合があります。その場合は、ISOFIX ガイドを差し込まずに本製品を取り付けることもできますが、ISOFIX 固定装置の周囲の座席の生地にキズがつく場合があります。あらかじめご了承ください。

ISOFIX 固定装置の場所や使いかたについては自動車の取扱説明書を参照してください。

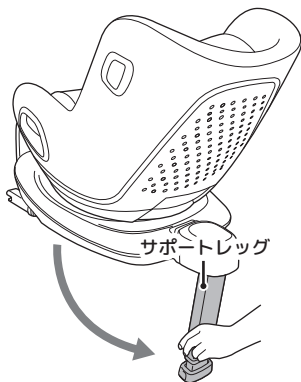
03

サポートレッグを最後まで開きます。

サポートレッグは開いた状態で完全には固定されていません。本体を持ち上げるとサポートレッグが閉じることがあります。

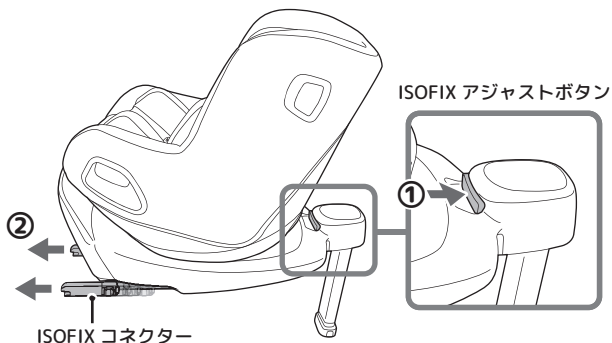
⚠ 注意

なお、サポートレッグは閉じた状態でも固定されませんので、持ち上げる際はご注意ください。



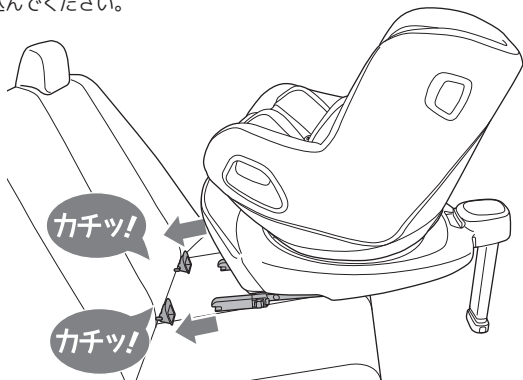
04

ベース先端部の① ISOFIX アジャストボタンを押し込みながら② ISOFIX コネクターを引き出します。最後まで引き出してください。ISOFIX コネクターは左右運動しますので、左右のいずれか一方を引けば両方の ISOFIX コネクターを引き出すことができます。



05

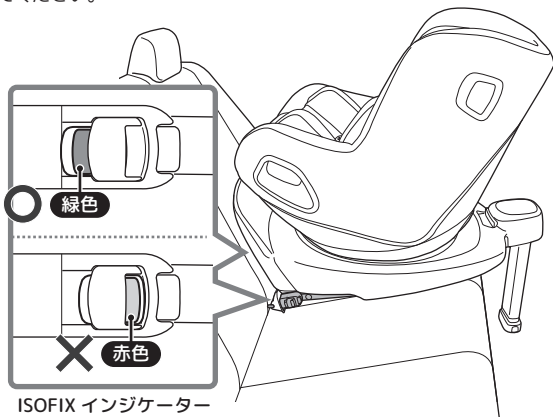
本製品をシート座面に置き、左右の ISOFIX コネクターを、それぞれ ISOFIX ガイドに差し込みます。左右それぞれカチッと音がして ISOFIX 固定装置に固定されるまでしっかりと差し込んでください。



06

ISOFIX インジケーターが左右とも緑色になっていることを確認します。必ず左右両方とも確認してください。

左右いずれか一方でも緑色になっていない（赤色のまま）場合は、もう一度操作をやりなおしてください。



ISOFIX インジケーター

ISOFIX コネクターが確実に ISOFIX 固定装置に取り付けられていないと、衝突や急制動の際に、チャイルドシートが自動車の座席から外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。



危険

左右の ISOFIX インジケーターのいずれか一方でも赤色の場合は正しく取り付けられていない状態ですので、両方の ISOFIX インジケーターが緑色になるよう取り付け直してください。

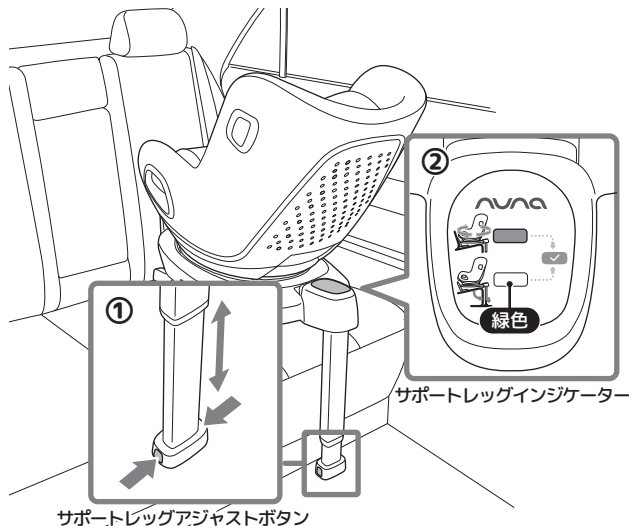
07

本製品を手前に引いて ISOFIX コネクターが抜けないことを確認します。

08

サポートレッグ先端の①サポートレッグアジャストボタンを左右からつまむようにして握り、サポートレッグの長さを調整します。サポートレッグの先端が、まっすぐ床面に接して、かつベースが座席のシート座面から浮き上がらないようにします。

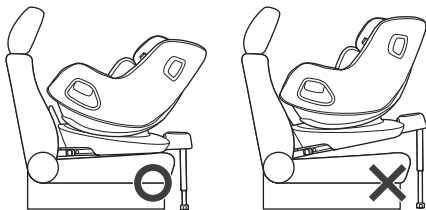
ベース先端の②サポートレッグインジケーターが緑色になっていることを確認します(下図参照)。赤色の場合は、サポートレッグが正しく調整されていないので、緑色になるまで調節しなおしてください。



サポートレッグが完全に床面に接地すると、サポートレッグインジケータは緑色になります。赤色の場合は、サポートレッグが完全には接地していませんので、サポートレッグを調節して、サポートレッグインジケータが緑色になるようにしてください。

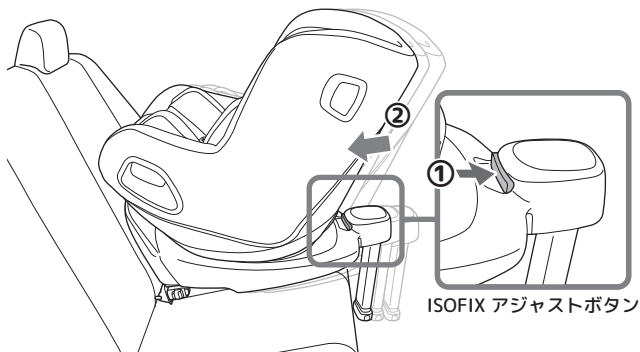
⚠ 危険 サポートレッグの下や周囲に物を置かないでください。サポートレッグは、安全上、大変重要な部品です。サポートレッグは、自動車の床面の平面部に接地させますので、サポートレッグの下に物を置かないでください。また、サポートレッグが正しく機能しなくなるおそれがありますので、サポートレッグの周囲、特にサポートレッグの前に物を置かないようにしてください。

⚠ 警告 ベースをシート座面から極端に浮かせないように注意してください。サポートレッグを調節する際には、ベースの底面がシート座面に、サポートレッグが床面に、それぞれ接している状態にします。



09

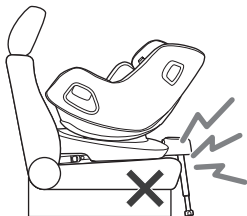
① ISOFIX アジャストボタンを押し込んで、②本製品をシート背もたれ側に押し付けます。リバウンドバーがシート背もたれに接するようにしてください。



💡ポイント

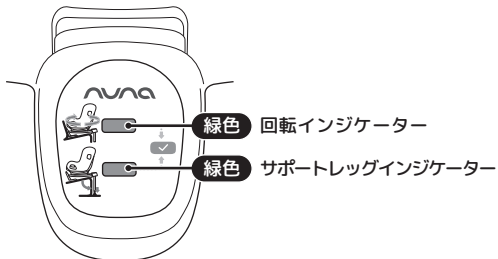
背もたれ側に押し付けすぎると、座席によってはサポートレッグが過剰に座席に干渉する場合があります。サポートレッグが過剰に干渉しない範囲で押し付けるようにしてください。

押し付けすぎた場合は、ISOFIX アジャストボタンを操作して、少し手前に引き戻してください。



10

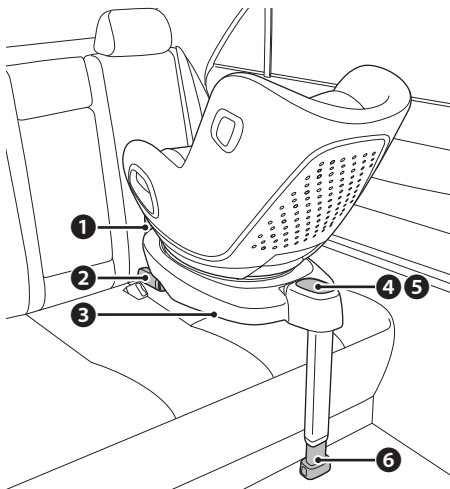
本製品を押し込む 09 の操作により、状態が変わる場合がありますので、最後に、もう一度インジケーターがすべて緑色になっていることを確認してください。赤色の部分があればもう一度取り付けなおしてください。



11

本製品が正しい状態になっていることを確認します。

以下のチェックリストを確認してください。一つでも正しくない部分があれば、正しい状態になるよう操作しなおしてください。



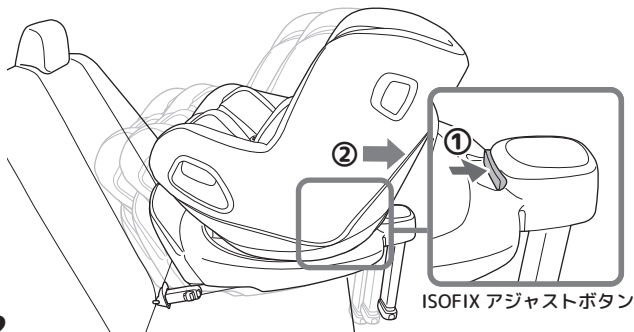
チェックリスト

- ① ベースのリバウンドバーがシート背もたれに接するまで、本製品がシート背もたれ側にしっかりと押し込まれていること。
- ② 左右の ISOFIX コネクターが ISOFIX 固定装置に固定され、ISOFIX コネクターのインジケーターが左右とも緑色になっていること。
- ③ ベースの底面がシート座面に接していること（極端に浮いていないこと）。
- ④ シェルが後ろ向き、または前向きで固定されていて、回転インジケーターが緑色になっていること。
- ⑤ サポートレッグインジケーターが緑色になっていること。
- ⑥ サポートレッグが完全に開かれていて、サポートレッグの先端が床面に接していること。
サポートレッグの下、周辺に物が置かれていないこと。

取り外しかた

01

ISOFIX アジャストボタンを押し込んで、本製品を手前に引き出します。

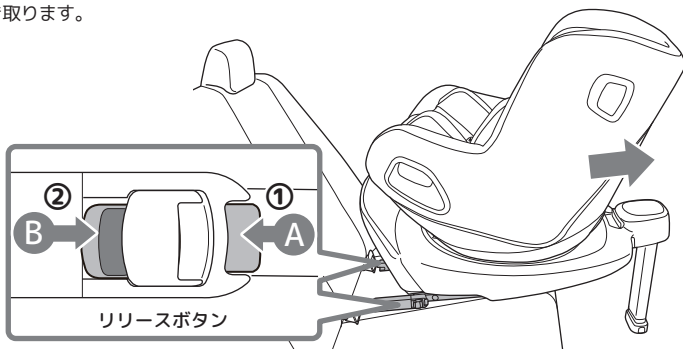


02

ISOFIX コネクターを ISOFIX 固定装置から取り外します。

左右の ISOFIX コネクターを同時に操作してください。

① A のリリースボタンを押しながら、② B のリリースボタンを押すと ISOFIX コネクターのロックが解除されますので、そのままベースを手前に引いて ISOFIX 固定装置から抜き取ります。



💡ポイント

片側の ISOFIX コネクターが ISOFIX 固定装置から取り外されてしまうと、他方の ISOFIX コネクターの取り外しができなくなります。このような場合、再度 ISOFIX 固定装置に ISOFIX コネクターを押し込んで両方とも固定してから、取り外しの操作をやりなおしてください。



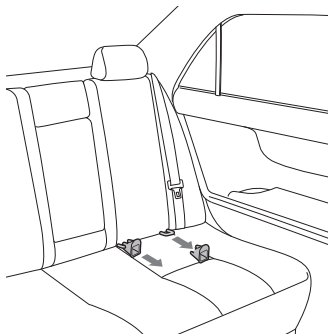
ISOFIX コネクターを左右同時に操作しながら、本製品を手前に引いて取り外します。本製品を手前に引かないと、ISOFIX コネクターが再度ロックされてしまいます。

03

ISOFIX ガイドを取り外します。ISOFIX ガイドはなくさないよう、大切に保管してください。

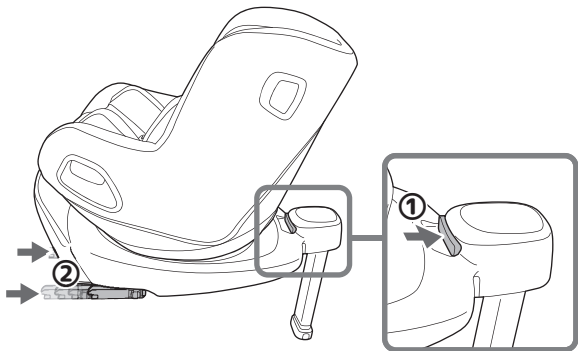


注意 ISOFIX ガイドは取り付けたまにしないでください。ISOFIX ガイドが紛失、破損したり、同乗者がケガをするおそれがあります。ISOFIX ガイドは、必ず取り外した上、お子さまの手の届かない場所で、なくさないよう大切に保管してください。



04

① ISOFIX アジャストボタンを押し込んで② ISOFIX コネクターをベースに収納します。



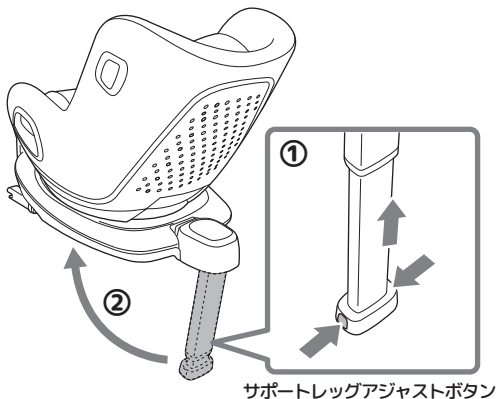
ISOFIX アジャストボタン



注意 破損や故障、ケガなどのおそれがありますので、本製品をシートから外したらISOFIX コネクターはベース内に収納しておくようにしてください。

05

- ①サポートレッグアジャストボタンを操作し、サポートレッグを最も短い状態にして、
- ②サポートレッグをベース側に折りたたみます。



06

サポートレッグが開かないように片手でサポートレッグを支えて、本製品を自動車から取り出します。

⚠ 注意

サポートレッグは閉じた状態で完全には固定されていません。本体を持ち上げるとサポートレッグが開くことがありますのでご注意ください。
なお、サポートレッグは開いた状態でも固定されませんので、持ち上げる際はご注意ください。

お子さまの乗せかた

本製品は、自動車の進行方向に対してシェルを後ろ向きまたは前向きにして使用しますが、使用可能な向きは、お子さまの身長および月齢により異なり、本製品の適合する基準によって定められています。



危険 お子さまの身長が 76cm 以上かつ生後 15 ヶ月を超えるまでは、後ろ向きでのみ使用可能です。前向きで使用してはいけません。

参照 P13 > 使用可能なお子さまの範囲



警告 お子さまの乗せ降ろしは、本製品を正しく自動車の座席に取り付けてから行ってください。お子さまを乗せた状態で本製品を持ち上げたりすると、転倒したり、お子さまが落下したりするなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

準備

お子さまの月齢が低い間は後ろ向きで使します。本製品は使用可能な期間の最後まで（お子さまの身長が 105cm かつ体重 19kg まで）後ろ向きで使うことができますが、後ろ向きで使した場合に、お子さまの足が自動車の座席の背もたれにあたるようになったら、前向きにして使してください。

01

お子さまの月齢、体格に合わせてインファントインサートを調節します。

参照 P14 > インファントインサートの使用



ポイント 身長が 60cm 未満かつ体重 13kg 以下のお子さまは、インファントインサートを取り付けて使ってください。

02

本製品が正しく自動車の座席に取り付けられていることを確認してください。

参照 P54 > 取り付けかた > 11 > チェックリスト

03

お子さまの体格やシート座面、シート背もたれの角度に応じて、リクライニングの角度を調節してください。

参照 P42-43 > リクライニング

04

SIP ポッドが自動車のドア側になるように取り付けられていることを確認します。

参照 P41-42 > SIP（サイドインパクトプロテクション）ポッド

💡ポイント

SIP ポッドは、お子さまを乗せて使用する状態でドア側になるように取り付けます。本製品はシェルが回転しますので、取り付けの向きにご注意ください。

後ろ向きで使用する場合

01

誤って前向きに回転させないように、回転ロックレバーを右にスライドさせてシェルの前向きへの回転をロックしておいてください。

参照 P45-46 > 回転ロック機構

💡ポイント

シェルの回転をロックしても、横向きには回転させることができます。シェルの横向きに回転させると、お子さまの乗せ降ろしがしやすくなります。

前向きで使用する場合

01

回転ロックレバーを左にスライドさせて回転ロックを解除します。

参照 P45-46 > 回転ロック機構

💡ポイント

シェルの横向きに回転させると、お子さまの乗せ降ろしがしやすくなります。

お子さまの乗せ降ろし

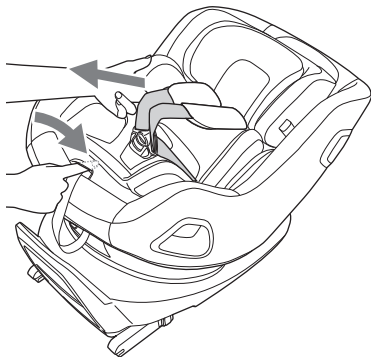
お子さまの乗せ降ろしのしかたは、後ろ向きでも前向きでも基本的には同様です。
ただし、適切な肩ベルトの高さなど、後ろ向きと前向きでは異なる部分もありますので
ご注意ください。

💡ポイント 図は後ろ向きでの使用状態を示しています。

01

あらかじめ肩ベルトを十分にゆるめて
バックルを外しておきます。

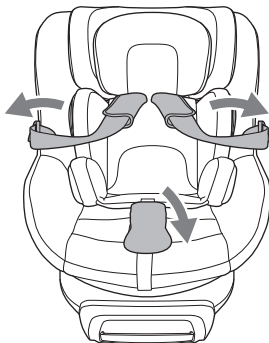
参照 P35-36 >ハーネスの長さ調節



02

お子さまが受けバックルや差込みタングの上に座らないよう、股ベルト（受けバックル）を前側に倒し、
左右の差込みタングを外側に出しておきます。差込みタングは、
差込みタング受けに留めておくと、よりお子さまの乗せ降ろしがしやすくなります。

参照 P34 >差込みタング受け



03

お子さまを楽な姿勢にして本製品に座らせませす。背筋を伸ばして、股ベルト（受けバックル）を起こして両足の間に入れます。



💡ポイント

お子さまは楽な姿勢で座らせてください。座りかたが浅すぎたり、深すぎたりしないようにご注意ください。

後ろ向きの場合



○ 楽な姿勢



✕ 浅すぎる



✕ 深すぎる

前向きの場合



○ 楽な姿勢



✕ 浅すぎる



✕ 深すぎる



危険

誤った姿勢で乗せるとお子さまがハーネスを正しく装着固定できず、衝突や急制動の際にお子さまが本製品から飛び出すなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。必ずお子さまを正しい姿勢で本製品に乗せてください。

04

ハーネスが十分にゆるんでいることを確認します。

肩ベルトにお子さまの腕を通します。

肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないことを確認して、肩ベルト（肩ベルトパッド）をお子さまの肩の部分に通し、腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通るようにして、カチッと音がするようにしっかりとバックルを留めます。



警告

ハーネスにねじれがあると本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。バックルを留める前に、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないことを確認してください。



ポイント

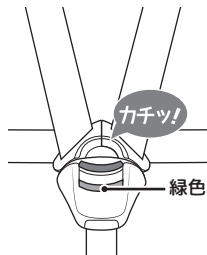
ハーネスがきつい場合は無理にバックルを留めず、ハーネスをさらにゆるめてからバックルを留めます。

肩ベルトの高さの調節をおこなうと、さらにハーネスが締め付けられるおそれがあります。

05

バックルが「カチッ」と音がして固定されていること、バックルボタンの下部に緑色のインジケーターが表示されていることを確認してください。

参照 P33 > バックルの留めかた



⚠ 危険 差込みタングが受けバックルにしっかりと差し込まれ、緑色のインジケーターが表示されていることを確認してください。お子さまが操作されてバックルが外れたりすることもありますので、本製品の使用中は適宜バックルの状態を確認してください。差込みタングを受けバックルに差し込んでも緑色のインジケーターが表示されない場合は、ご使用にならないでください。

06

肩ベルトの高さを確認、調節します。

最初にハーネスの締め付け状態を確認します。

ハーネスが締め付けられている場合は、さらにハーネスをゆるめてください。

参照 P35-36 >ハーネスの長さ調節

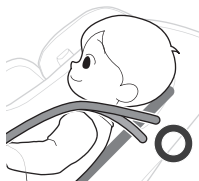
07

ヘッドサポートを上下に動かして肩ベルトの高さを調節します。

高さは6段階で調節することができます。

- 後ろ向きで使用する場合は、お子さまの肩の高さと水平か、またはお子さまの肩の位置に最も近く、かつお子さまの肩の位置より低い段階に調節します。
- 前向きで使用する場合は、お子さまの肩の高さと水平になるように調節します。

後ろ向きの場合



肩ベルトは、お子さまの肩と同じ高さから少し低い位置までの間で調節してください。

前向きの場合



肩ベルトは、お子さまの肩と同じ高さになるよう調節してください。

参照 P37 >ハーネスの高さ調節

⚠ 危険 後ろ向き使用時と前向き使用時では適切な高さが異なります。それぞれの適切な高さで調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと衝突や急制動の際にお子さまに過度の負担がかかったり、お子さまが本製品から飛び出したり肩ベルトが首に絡まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。



注意 肩ベルトの高さ調節は、お子さまに負担がかからないよう、やさしく、ゆっくりと操作してください。

肩ベルトの高さは使用毎に調節する必要はありませんが、適切な高さになっているか使用前には確認するようにしてください。



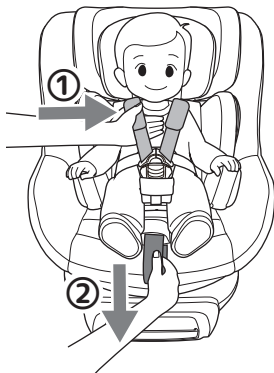
ポイント インファントインサートを取り外け、取り外した場合は肩ベルトの高さ調節が必要となります。

また、お子さまの成長に合わせて適宜調節してください。

08

肩ベルトとお子さまの間に、①片手の掌を差し込んで、②別の手でアジャストベルトをゆっくりと引いて、締め付けます。

差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間に挟まれるまで締め付けるようにします。



危険 肩ベルトが強く締めすぎるとおそれがありますので、アジャストベルトを、勢いよく引っ張らないでください。強く肩ベルトが締まるほど保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまに思わぬ影響を与えるおそれがあります。締めつけがゆるすぎた場合、使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。肩ベルトは必ず適切な強さで締め付けるようにしてください。



ポイント 締め付けすぎた場合は、一旦ハーネスをゆるめてから締めなおしてください。

09

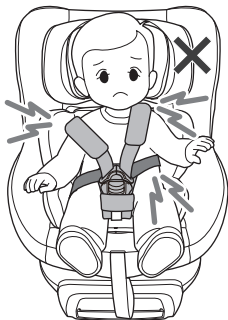
ハーネスが正しい状態になっていることを今一度確認してください。

肩ベルト（肩ベルトパッド）が、お子さまの肩を通り、腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通るよう、必ず確認して、正しくなるように調節してください。

肩ベルトにズレがないこと



腰ベルトが骨盤の上を通っていること



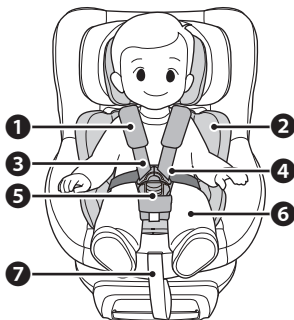
危険

ハーネスは必ず正しい状態で装着してください。ハーネスがゆるんでいたり、ねじれていたり、肩ベルトが腕の位置や頸部を圧迫する位置を通っていたり、腰ベルトがお子さまの腹部や大腿部の位置を通っていたりすると、衝突や急制動の際にお子さまに危険がおよぶおそれがあります。ハーネスは必ず正しい状態にして、使用中もハーネスがずれたり、ゆるんだりしていないか適宜確認するようにしてください。

お子さまの身長が 76cm 以上になり、かつ生後 15 ヶ月を過ぎるまでは後ろ向きでのみ使用可能です。前向きで使用してはいけません。

10

以下のチェックリストを確認して、各部が正しい状態になっているか確認してください。正しい状態になっていない部分がある場合は、正しい状態にしてから本製品を使用してください。



チェックリスト

- ① 肩ベルトの高さが適切に調節されていること
- ② インファントインサートが適切に使用されていること
 - ・身長 60cm 未満かつ体重 13kg 以下のお子さまは、インファントインサートを使用してください。
 - ・前向きで使用する場合、インファントインサートは使用できません。
- ③ ハーネスが適切に締め付けられていること
- ④ 肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないこと
肩ベルト（肩ベルトパッド）がお子さまの肩の部分を通っていること
腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること
- ⑤ バックルがしっかりと留まっていること
- ⑥ お子さまが正しい姿勢で座っていること
- ⑦ リクライニングが適切に調節されていること

💡ポイント

本製品のバックルは、お子さまが誤って外さないよう操作が固めになっていますが、お子さまが成長されましたらバックルに手を触れないように言い聞かせるようにしてください。

11

シェルが横向き、または斜め向きになっている場合は「カチッ」と音がするまでシェルを回転させて固定します。後ろ向きで使用する場合は後ろ向き、前向きで使用する場合は前向きにして固定してください。軽くシートを動かして、後ろ向きまたは前向きで確実に固定されていることを確認してください。



⚠ 前向きは、身長 76cm 以上、かつ生後 15 ヶ月を超えてから使用可能

⚠ 危険

お子さまがシートベルトに引っかかったり、お子さまの手足が座席と本製品の間に挟まれていると、ケガをするおそれがあります。シェルを回転させる際には、お子さまの安全を確認して、ゆっくりと回すようにしてください。

シェルは後ろ向きまたは前向きにして確実に固定してください。シェルを横向きや斜めの状態にして使用してはいけません。

参照 P45-47 > シェルの回転



12

お子さまを降ろすには、降ろしやすい方向にシェルを回転させます。

バックルを外してお子さまの腕を肩ベルトから抜き、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。

⚠ 警告 勢いよくお子さまを降ろすと、肩ベルトから完全に腕が抜けていない場合などに重大な事故につながるおそれがあります。お子さまがハーネスなどに引っかからないように注意しながら、ゆっくりと降ろすようにしてください。

13

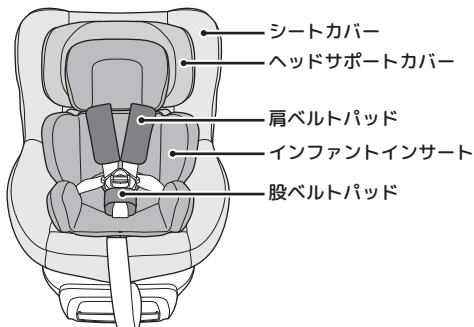
お子さまを降ろした後、バックルを留めてシェルは使用していた向き（後ろ向き、または前向きのいずれか）にして固定しておいてください。

お手入れのしかた

カバー類の取り外し、取り付け

本製品は、お手入れのために、以下の縫製品を取り外すことができます。

お手入れ後は、取り外した縫製品を必ず（インファントインサートは必要に応じて）取り付けなおしてください。



⚠ 危険

チャイルドシートとして所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので本取扱説明書で別段の指示がない限り、部品を取り外して使用しないでください。カバー類、縫製品類は、安全に関わる重要な部品ですので決して取り外して使用しないでください。また、同様に本製品に使用されているウレタンなどの衝撃緩衝材、本製品に貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないでください。

⚠ 注意

お子さまが本製品の内部機構に手や指を差し入れてケガをするおそれがありますので、お手入れなどのためにシートカバーなどを取り外したら、取り付け直すまでの間は、本体をお子さまの手の届かない場所で保管するようにしてください。

シートカバーを取り外すと、本製品の内部機構が見える状態になります。内部の機構に手を加えたり、触らないようにしてください。また、内部にゴミなどが入ると誤作動につながるおそれがありますので、シートカバーを取り外した本製品は、ビニール袋を被せるなどして保護しておいてください。

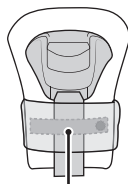
股ベルトパッド

01

股ベルトパッドは、股ベルトパッド内側に縫い付けてある固定ベルトのフックボタンで留めてあります。①フックボタンを外して、②股ベルトパッドを取り外してください。

02

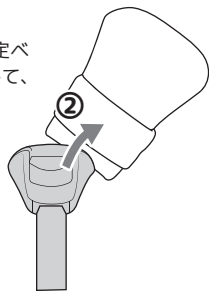
取り付けは逆の手順で行います。股ベルトパッドは必ず取り付けてください。



固定ベルト



フックボタン



⚠ 警告

股ベルトパッドは、必ず取り付けなおしてください。股ベルトパッドが取り付けられていないと、本製品が所定の安全性能を発揮できません。

インファントインサート

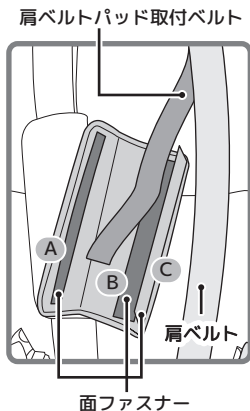
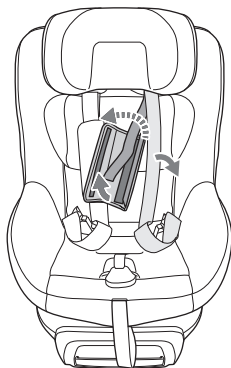
以下を参照してインファントインサートを取り外し、取り付けします。

参照 P38-40 >インファントインサート

肩ベルトパッド

01

- ①肩ベルトパッドの面ファスナー（AとC）を開き、②肩ベルトを抜きます。
- ③肩ベルトパッド取付ベルトの面ファスナー（B）を外して、肩ベルトパッドを取り外します。



💡ポイント

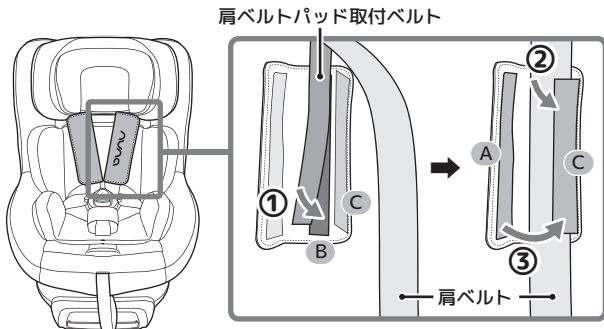
肩ベルトパッドは、ハーネスには固定されていません。肩ベルトパッド取付ベルトに固定されています。肩ベルトは肩ベルトパッド取付ベルトの上に重ねられています。

02

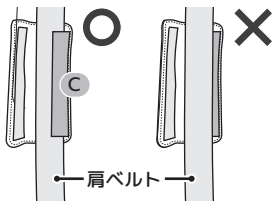
肩ベルトパッドを取り付ける際には、左右と上下の向きに注意してください。下図を参照して正しい向きで取り付けます。

図は向かって右側の肩ベルトパッドの状態を示しています。

①肩ベルトパッド取付ベルトに面ファスナー（B）を取り付けて、肩ベルトパッド取付ベルトに重ねるようにして②肩ベルトを面ファスナー（C）の下側に差し込み、③面ファスナー（A）と（C）を取り付けて固定します。



使用中に肩ベルトパッドが開くおそれがありますので、肩ベルトを面ファスナー（C）の上側にしないでください。肩ベルトは面ファスナー（C）の下側になるようにしてから、面ファスナー（A）と（C）を留めてください。



シートカバー・ヘッドサポートカバー

ブルー エアー

ブルー エアーをお使いの場合はあらかじめキャノピーを取り外しておいてください。

参照 P44 > キャノピー（ブルー エアーのみ）> 取り付け、取り外し > 03

01

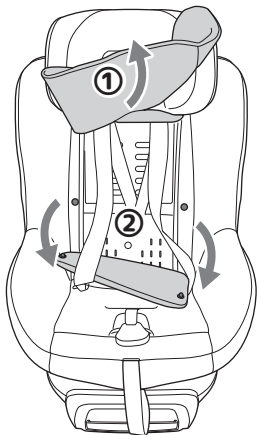
あらかじめヘッドサポートを最も高い位置に調節して、SIP ポッドを取り外しておきます。

参照 P37 > ハーネスの高さ調節

参照 P41-42 > SIP（サイドインパクトプロテクション）ポッド

02

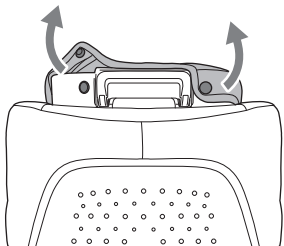
①ヘッドサポートの下部を上にくくり、②背もたれ部分の中央あたり左右で留めてあるシートカバーのホックボタンを外します。左右とも外してください。



03

ヘッドサポート後部のヘッドサポートアジャストレバーの左右に留めてあるヘッドサポートカバーのホックボタンを外します。左右とも外してください。

ポイント ヘッドサポートが低い位置に調節されていると、ホックボタンは取り外しできません。



⚠注意 ホックボタンは固めです。注意して取り外し、取り付けしてください。

04

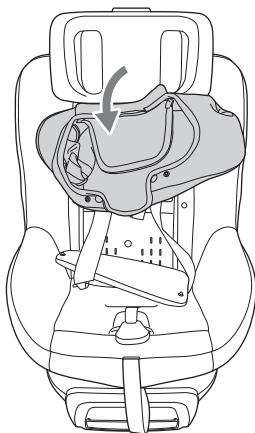
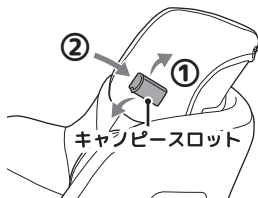
ヘッドサポートカバーの上部を前方に向かって取り外します。ブルー エアーをお使いの場合は以下を参照してください。

⚠ 注意 ヘッドサポート部のウレタンや衝撃緩衝材にキズを付けないように注意してください。

ブルー エアー

ブルー エアーの場合、①ヘッドサポートカバーの通し穴がキャンピースロットにたくし込まれていますので外しておいてください。

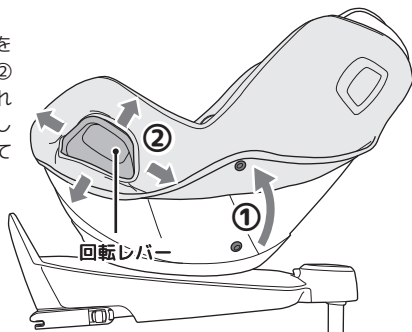
取り付け時は操作が固めです。②ヘッドサポートカバーの通し穴をキャンピースロットの前方からはめ込むようにしてください。



⚠ 注意 ヘッドサポート部のウレタンや衝撃緩衝材にキズを付けないように注意してください。

05

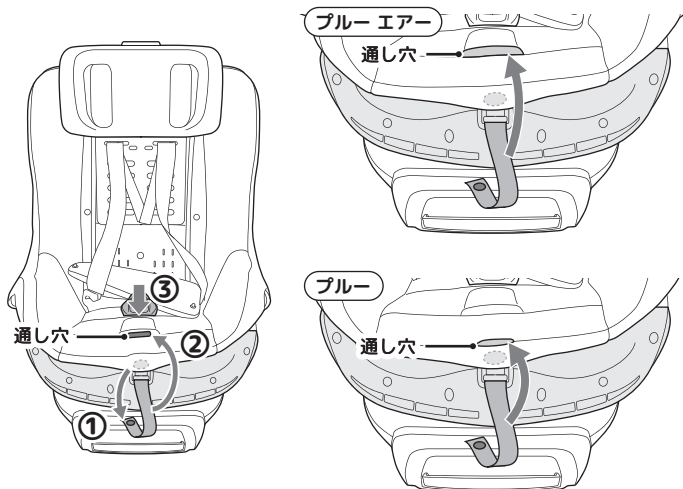
シェルの側面左右でシートカバーを留めている①ホックボタンを外し、②回転レバーの縁に沿ってたくし込まれているシートカバーの生地を抜き出しておきます。左右とも同じようにしてください。



06

シートカバー前端の裏側でアジャストベルトを留めている①面ファスナーを外して、②通し穴からアジャストベルトを抜きます。

③受けバックル、股ベルトをシートカバーの通し穴から抜きます。



💡ポイント

ブルーとブルー エアーでは、アジャストベルトの通し穴の位置が異なります。シートカバーを取り付けなおす際には、図を参照して通し穴を間違わないように注意してください。

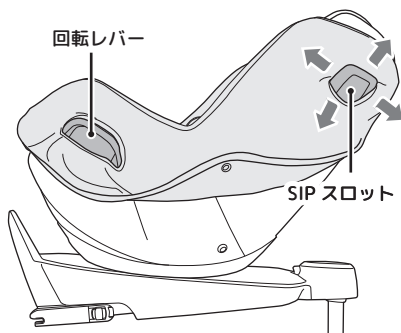
受けバックルの抜き取り（取り付け時の差し込み）は操作がきつめです。

07

SIP スロットにたくし込まれているシートカバーの生地を抜き出します。きつめにたくし込まれていますので、注意して抜き取り、差し込みしてください。

💡ポイント

取り付け時には、SIP スロット部（左右）、回転レバー部（左右）の順で差し込み口を取り付けてください。左右いずれか片側の SIP スロット部と回転レバー部両方にシートカバーを先に差し込むと、反対側の作業が難しくなります。

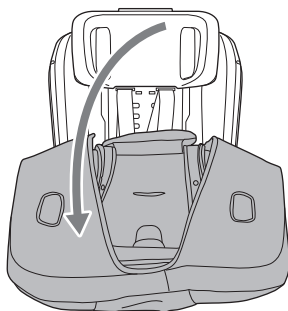


08

シートカバーを前方に取り外します。

09

ヘッドサポートカバー、シートカバーの取り付けは逆の手順で行ってください。



お手入れの方法

カバー類

以下のカバー類は、洗濯機で洗濯が可能です。
注意事項をお守りいただき、お手入れしてください。

- ・シートカバー
- ・ヘッドレストカバー
- ・インファントインサート

洗濯できませんので、クッションは取り外してください。

洗濯できませんので、ヘッドパッドのクッションプレートは取り外してください。

- ・肩ベルトパッド
- ・股ベルトパッド

- 液温 30℃以下の水で洗濯機で通常の洗濯が可能です。
- 洗濯機をご使用になる際は、重量の偏りに注意してください（特に脱水時）。
- 汚れがひどい場合には、中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合には、しっかりとすすいで、洗剤を完全に落としてください。
- 軽く絞って、形を整えて陰干ししてください。
- 取り付けは、よく乾かしてから行ってください。
- 留めることができる面ファスナー、ホックボタンは留めた状態で洗濯してください。

- ・漂白剤は使用できません。
- ・タンブル乾燥処理はできません。
- ・日陰でつり干し乾燥してください。
- ・アイロンは使用しないでください。
- ・商業クリーニング、ドライクリーニングはしないでください。
- ・ガソリン、シンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。
- ・きつく絞らないでください。
- ・キャンピー（ブルー エアーのみ）は、洗濯できません。



注意

シェル・ベース

樹脂部分は、お湯または水を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふきとってください。汚れがひどい場合には、水で薄めた中性洗剤を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふき取ってください。洗剤を使用した場合は、お手入れ後に洗剤をしっかりとふき取ってください。

⚠ 危険

水を直接かけないでください。サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。

油類などの潤滑剤は使用できません。潤滑性のある材料を含んだ洗浄液等を使用すると、大変危険です。絶対に使用しないでください。

⚠ 注意

市販のウェットタオル（ウェットティッシュ）や赤ちゃんのお尻ふきは、樹脂部分のお手入れに使用しないでください。含まれる成分によっては、樹脂が劣化、変質するおそれがあります。

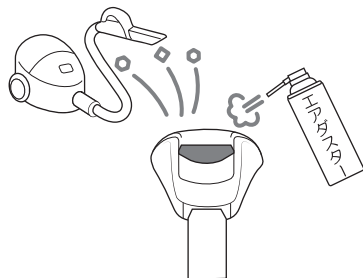
ガソリン、シンナーなどの有機溶剤、その他の溶剤を使用しないでください。樹脂部品に影響を与え、ウレタンなどの衝撃緩衝材を溶解し、変質、変形させるおそれがあります。

ハーネス・ベルト類・受けバックル・差込みタンゲ

ハーネス、アジャストベルト、股ベルトは取り外しできません。本体に取り付けたままお手入れしてください。

お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふきとってください。洗剤類は使用しないでください。

受けバックルの内側は、ご家庭の掃除機でゴミやほこりを吸い取るか、市販のエアダスターで中のゴミ、ほこりを吹き飛ばすようにしてください。



水を直接かけないでください。サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。

⚠ 危険

油類などの潤滑剤は使用できません。潤滑性のある材料を含んだ洗浄液等を使用すると、大変危険です。絶対に使用しないでください。

市販のウエットタオル（ウエットティッシュ）や赤ちゃんのお尻ふきは、樹脂部分のお手入れに使用しないでください。含まれる成分によっては、樹脂が劣化、変質するおそれがあります。

⚠ 注意

ガソリン、シンナーなどの有機溶剤、その他の溶剤を使用しないでください。樹脂部品に影響を与え、ウレタンなどの衝撃緩衝材を溶解し、変質、変形させるおそれがあります。

保管のしかた

長期間使用しない場合、本製品は自動車の座席から取り外してください。

長期間使用しない場合、自動車の座席から取り外した上で正しく保管してください。

ほこりがバックル内に入らないよう、保管時は本製品のバックルを留めておくようにしてください。

直射日光の当たらない、寒暖差の激しくない、湿気の少ない室内で保管してください。

雨風のあたる場所、露天では保管しないでください。

本製品の上に物を乗せて保管しないでください。

廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようにしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示し、シートカバーを破るなどして、再利用ができない状態にして廃棄するようお願いいたします。

保証書

保証期間	お買い上げ日より1年間		
製品名	nuna pruu (プルー) / pruu aire (プルー エアー)		
お買い上げ日			
お客様	ご住所 〒 -	お買い上げ 販売店名	店名
	お名前 電話番号 - -		住所 電話番号

本製品の保証は、規定の内容に従いお買い上げ日から1年間有効となります。お買い上げ日やお買い上げたいただいた販売店名が不明の場合保証の対象となりませんので、お買い上げいただいた際のレシートや領収書等を本取扱説明書と一緒に保管するようにしてください。

1. 保証期間中に正常な使用状態において、万が一故障が発生した場合には無償で修理いたします。ただし、ご購入時の初期不良の場合を除いて、修理に要する送料はお客様にご負担いただきます。

2. 保証期間内であっても次のような場合には、有償での修理となります。

- ・ 本保証書原本の提示がない場合（コピーされた保証書は無効です）および記入事項の字句に書き換えが認められる場合
- ・ お客様ご自身が、本製品を新品でご購入されたことを証明できない場合

- ・本取扱説明書および製品本体に表記されている指示内容に従わなかったために生じた、故障、破損、不良の場合
 - ・正常な使用、お手入れにより生じた傷や汚損、破損、日焼けによる表面の劣化、シートカバー類、ベルト類等縫製製品のほつれの場合
 - ・部品の紛失の場合
3. 次のような場合には、安全のため、保証期間、有償、無償に関わらず修理することができません。
- ・事故や落下などの強い衝撃を受けたことにより生じた故障、破損、汚損の場合
 - ・誤使用、または改造、不当な分解によって発生した故障、破損、汚損の場合
 - ・本保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記載のない場合
 - ・並行輸入品や海外で購入された製品の場合
 - ・業務用、レンタル等、一般家庭外で使用されている場合
 - ・中古品の場合
 - ・本製品に貼り付けられているシール類がはがされている場合
 - ・本製品の製造が終了し、修理に必要な部品が無い場合
4. 本製品を正しく使用することにより生じた、自動車の座席表面やシートベルトの傷、取り付けあと等は保証いたしかねます。
5. 一度でもご使用になった製品のお取り換えはできません。
6. 保証は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
※製品は万全を期して製造しておりますが、万が一不都合な点がございましたら弊社お客様サービスまでお問い合わせください。
※性能向上のため、予告なく仕様を変更する場合があります。
※本書に記載いただいた個人情報につきましては、個人情報保護法の規定を準拠し、本保証に関わる範囲においてのみ使用いたします。

(本製品に関するお問い合わせ先)

株式会社カトーजी お客様サービス

電話：0568-67-5701 平日10~17時（土日祝日を除く）

www.katoji.co.jp

(nuna日本総代理店)

株式会社カトーजी 〒484-0894 愛知県犬山市羽黒北金屋39-2

シシート等を貼り付けてください



Find out more at **nunababy.com**